2023年度

教育計画

Education plan

公益社団法人 山梨県看護協会
看護教育研修センター

Yamanashi Nursing Association

公益社団法人
山梨県看護協会

看護職の皆様へ
2023 年度「教育計画」冊子の発刊にあたって

山梨県看護協会　会長　佐藤 悦子

日頃より看護協会事業の推進に深いご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。3年を超える新型コロナウイルス感染症への対応に、日々奮闘されている全ての看護職の皆様に、心から敬意を表し深く感謝申し上げます。

日本看護協会は2040年に向けて社会の期待に応えるために看護職が取り組む点として、①健康と生活を支えるキーパーソン　②新しいサービスモデルの担い手　③自立した判断能力の獲得　の３つをあげ、期待される力や役割発揮に向けそれらを重点政策・重点事業に反映させて取り組むとしています。同時に、看護職の生涯学習支援体制の構築を目指し、自律した学びの支援への検討を行っております。

さて、東北大学の研究で1990年に40～64歳の者を対象に行ったアンケートで「どのくらい生きたいと思うか」尋ね25年後追跡調査をした結果、「平均寿命まで生きたいとは思わない」と回答した人の平均寿命は短かったという、興味深い研究報告があります。生きたいという希望を持っている人ほど、生きるための努力を行うためではないかと推論されておりました。今日本は新型コロナウイルス感染症や経済状態の悪化等々、生きる希望が見いだしにくい時代ともされており、人々のこれからの健康へのアプローチは、従来のものとは異なってくるのではないかと考えます。

私たちは医療と生活の視点から人々の健康へ働きかける専門職として、今の時代を生きる人々への理解を深める一方で、進歩する医学の専門知識と根拠ある看護技術の獲得のための努力が、今まで以上に求められているのではないかと思います。

山梨県看護協会は、看護職の高い専門性の獲得のために看護の質向上を基本理念に据え活動している専門職能団体です。自らの教育を組織的に行っていくために、「教育計画」をもとに教育事業を推進しております。2023年度の「教育計画」は、研修受講者からの意見も反映させ教育委員会の皆様が、熱心な検討を重ね立案してくださったものです。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、昨年同様開催方法を工夫しての実施とさせていただきます。「教育計画」をじっくりとご覧いただき、自分自身の研修をどのように組み立てるかご検討ください。保健・医療・福祉現場で活躍するすべての看護職の皆様にぜひ受講していただき、学んだものを看護実践に活かしていただけることを期待いたします。

最後になりますが、看護管理者の皆様には、一人でも多くの看護職が希望する研修に参加できますよう受講しやすい環境づくりに、ぜひともご配慮いただけますことを心よりお願い申し上げます。

2023年4月

山梨県看護協会　教育計画の柱

教育理念　看護職は、保健・医療・福祉のニーズの変化に柔軟に対応し、生命の尊厳と権利を尊重し、安全・安楽で、適切な看護サービスを提供できるための質を保証しなければならない。そのため、個々の看護職者は専門職として、自らの責任において、生涯にわたり更なる能力開発に努める責務がある。看護協会は、継続教育の体系化を図り、県民の健康と福祉の増進に貢献する専門職業人としての能力の開発・発展を支援する。

教育基本方針　看護職者が専門職として行う能力開発を支援し、キャリア形成に貢献できる研修プログラムを提供する。

1．継続教育の体系化を図り、看護職者のキャリア開発を支援する。
2．社会や組織から期待される役割を遂行できる研修企画の充実を図る。
3．変化する社会のニーズに対応できる研修を柔軟に企画する。
4．県内の各施設で教育指導する人材を育成するための研修を企画する。
5．日本看護協会・都道府県協会、県内の教育施設との連携を図り、教育の充実を図る。

教育目標

1．広く一般的な知識・技術を学び、根拠に基づく看護実践能力を養う。
2．専門職としての感性を養い、医療安全の基礎能力を育成する。
3．専門領域の知識・技術を学び、指導・調整ができる看護職者を育成する。
4．実践に活用できる研究能力、科学的思考ができる能力を養う。
5．管理に必要な知識・技術・態度を学び実践能力の拡大を図る。

目　　次

看護職の皆様へ　2023年度「教育計画」冊子の発刊にあたって…… 1
山梨県看護協会 教育計画の柱 …… 2
教育計画について…… 3
看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）…… 4
2023年度教育計画の特徴…… 5
研修受講要領…… 7
2023年度山梨県看護協会教育部研修一覧…… 10
2023年度研修目次（分類別）…… 12
　分類１．「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 … 13
　分類２．ラダーと連動した継続教育…… 15
　分類３．看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 … 22
　分類４．専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育…… 23
　分類５．資格認定教育…… 23
　分類６．人材育成…… 24
　分類７．看護研究…… 27
ナースセンター研修…… 28
トータル・サポート・マネジャー養成研修…… 28
訪問看護推進研修・交流会…… 29
委員会主催の研修 等 …… 30
職能研修・地区支部研修…… 31
2023年度山梨看護学会のご案内…… 32
研修申込書 様式1～2 …… 33

教育計画について

山梨県看護協会は重点事業の1つに「看護の質の向上を図るための人材育成」を掲げています。2023年度の教育計画は、日本看護協会の「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン ～いのち・暮らし・尊厳を まもり支える看護～」の指針に則り、専門職としての自信と誇りを持ち、看護実践能力、自己教育・研究能力、組織的役割遂行能力の向上を目指し、総務部、教育部、ナースセンター部、訪問看護ステーション部、山梨県訪問看護支援センターが、それぞれの研修や交流会等を企画しています。研修等は、すべての看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）を対象とし、キャリア開発を支援する内容となっています。

表1　研修分類

＊保健師・准看護師対象研修は分類1、分類2、分類6、分類7に含む

分類		内容
1	「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1）新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 2）政策提言に向けた研修 3）診療報酬に関連した研修
2	ラダーと連動した継続教育	1）「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）」（CLoCMiP®） 2）「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（JNA ラダー）
3	看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	1）看護管理者を対象とした研修 2）認定看護管理者を対象とした研修 3）これから看護管理を担う人々を対象とした研修
4	専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1）施設内教育におけるJNAラダー活用のための研修 2）都道府県看護協会の教育担当者・教育委員対象研修
5	資格認定教育	1）認定看護管理者教育課程 2）認定看護師教育課程
6	人材育成	1）経験年数に応じた研修、職種に応じた研修
7	看護研究	1）これから看護研究に取り組む人々を対象とした研修

表2　研修分類2における「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（JNAラダー）の段階設定

レベル	研修により到達を目指す能力・研修受講に適した能力
Ⅰ	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する
Ⅱ	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
Ⅲ	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
Ⅳ	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
Ⅴ	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する

表1及び表2は公益社団法人日本看護協会「2023年度日本看護協会教育計画」より一部引用

図1　JNAラダーを構成する4つの力

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」活用のための手引きより一部引用

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」

看護の核となる実践能力：看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力

定義	レベル		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
	レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	□自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	□ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる □得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	□予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる □ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		【行動目標】	□指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる □指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる □看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	□ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる □ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる □ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	□ケアの受け手の個別性に合わせて、適切なケアを実践できる □ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる □ケアの受け手の個別性をとらえ、看護実践に反映ができる	□ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる □幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる □複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	【レベル毎の目標】	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる □助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる □助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる □ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる □連絡・報告・相談ができる	□ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる □関係者と密にコミュニケーションを取ることができる □看護の展開に必要な関係者を特定できる □看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	□ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる □ケアの受け手とケアについて意見交換できる □積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	□ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる □多職種間の連携が機能するように調整できる □多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	□複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる □多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる □関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる □目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
		【行動目標】	□助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	□ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる □確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	□適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる □法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる

©2016 Japanese Nursing Association

2023年度教育計画の特徴

【2023年度日本看護協会教育計画に準じた研修分類やラダーの設定】

今年度教育部の研修については、日本看護協会の研修分類を基に、人材育成、看護研究の分類を追加しました。研修分類2の研修については「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を基盤としたラダーレベルを表記しています。ご自身の習熟段階に応じた必要な研修を、研修分類やラダーを参考に選択してください。

【新規研修】今年度は新たに以下の研修を開催します。※タブロイド判の内容から新規追加研修あり

・【新人看護職対象】身に付けよう！専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力
・【経験年数3年目以上・管理者を除く】看護リフレクション ～看護の質を高める看護実践・体験の語り～
・ 地域包括ケアシステムにつなげる外来看護

【2023年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル・ファーストレベル】

2023年度は、認定看護管理者教育課程セカンドレベルを6/1～8/31の期間に、ファーストレベルを10/2～11/30の期間に開講します。講義の聴講も可能です。看護管理について最新の知見を得るよい機会ですので、聴講をお勧めします。
※聴講可能な単元につきましては、ホームページを参照するか、教育部までお問い合わせください。

【JNA収録DVD研修】

DVDに収録された日本看護協会神戸研修センターの研修を、山梨県看護協会で集合研修として視聴する研修です。2023年度は「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」を開催します。詳細は、日本看護協会ホームページ（https：//www.nurse.or.jp/）▶ 生涯学習支援 ▶ 研修 ▶ JNA収録DVD研修を参照してください。なお、DVD研修については、資料印刷を外部委託する都合上、受講決定後のキャンセルはできませんのでご承知ください（受講料をいただきます）。

【研修等の開催形式について】

研修等は原則として山梨県看護協会に来館の上受講していただきます。一部の研修等に限り、Web開催（自宅あるいは施設からWeb受講）あるいはハイブリッド開催（来館受講とWeb受講の併用）で開催します。開催形式は受講決定通知にてお知らせいたします。急遽、開催形式を変更する場合は、施設の看護管理者に連絡いたします。ホームページにも掲載しますのでご確認ください。

【研修時間について】

研修時間は原則として9：30～15：30（途中昼休憩1時間を含む）です。半日の研修は受講決定通知でお知らせしますので、各自ご確認ください。受付は開始30分前から行います。

※セカンドレベルおよびファーストレベルの研修時間は上記と異なります。詳細は山梨県看護協会ホームページを参照してください。

【研修受講料について】

研修の受講料は原則として1日につき、会員は3,000円（税込）、非会員は6,000円（税込）です。

※JNA収録DVD研修など、日本看護協会が主催する研修の受講料は上記と異なります

【研修申込期間について】

研修の申込期間は、研修が開催される初日の前々月の下旬、20～30日あるいは31日の約10日間といたします。申込期間内にお申し込みください。

【オンライン研修を受講するための事前準備のお願い】

感染症等の拡大状況によっては、対面講義でなく、オンライン研修に変更する場合もあります。オンライン研修ではWeb会議システムZoomを使用します。急遽、変更する場合は事前にホームページまたは受講決定通知、看護管理者を通してお知らせします。受講生の皆様には、研修会前日までに以下１～５の事前準備をお願いいたします。

１．インターネット環境の整備と最適化を行う

・有線によるLAN接続を行うか、Wi-Fiなど、接続状況が安定した場所で受講してください。

２．受講するパソコンを準備する

・研修では、グループワークや講師や参加者とワークシートのやり取りすることがあります。受講するために必要なメールが受信できる自分専用のパソコンを1人1台用意してください。（タブレットやスマートフォンでは、ワークシートのやり取りができません）複数人で1台のパソコンからの受講は控えてください。

・使用するパソコンにスピーカー、マイク、カメラが内蔵されているかを前日には確認してください。内蔵されていない場合はスピーカー、マイク、Webカメラ、イヤホンないしヘッドセット（1つのお部屋から複数人数で受講する場合）等をご準備の上、各自で受講に必要な環境を整えて研修に臨んでください。

３．当日の受講方法について

・参加は、受講生の方に受講決定通知または研修資料と共に参加していただくためのパスワードをお知らせいたします。当日は、山梨県看護協会ホームページ画面にアクセスして、事前に通知された方法でパスワードを入力しご参加ください。

４．Zoomアプリをインストールする

・Zoomアプリをインストールしてください。

Zoom公式ダウンロード：https://zoom.us/download

・ブラウザからのZoom参加は、通信速度が遅くなったり、ブラウザによって使用できる機能が異なる場合がありますので、Zoomアプリのインストールをお願いします。

注1）ブラウザとは、Microsoft Edge やGoogle Chrome など、ホームページを閲覧するためのアプリケーションです。

注2）山梨県看護協会のZoom設定は、ブラウザからの参加を許可しない設定になっています。

・Zoomアプリは随時、更新してください。

５．研修資料について

・配布資料がある研修については、事前に施設看護管理者に郵送をさせていただきます。資料が間に合わない場合や追加資料がある場合は、当日朝までに該当研修のページに掲載させていただきますので、各自で資料のダウンロードおよび印刷をお願いいたします。

［その他］

・**パソコンの基本操作については習得しているものとみなしますのでご承知ください。**

・受講される皆様のインターネット環境が原因による視聴ができない等の問題、あるいはパソコン等の機器の不具合に関連するトラブルには対応いたしかねますのでご了承ください。

・受講に必要なインターネットへの接続料金や通信料金等につきましては、各自の負担になります。

研 修 受 講 要 領

Ⅰ．研修場所および時間

場所：公益社団法人　山梨県看護協会　看護教育研修センター

時間：1日研修：9:30～15:30（受付9:00～9:15）※研修開始15分前からオリエンテーション

半日研修：9:30～12:30（受付9:00～9:15）

13:00～16:00（受付12:30～12:45）※同上

※研修によっては時間が上記と異なることがあります。教育計画一覧を参照してください。

Ⅱ．参加条件

1．保健師・助産師・看護師・准看護師のいずれかの資格を有すること。※ 非会員も受講可

2．全期間を通して研修に参加し、かつ専念できること。（研修当日の夜勤・当直などの就業は避けてください。受講者の変更は認めません。）

3．参加条件がある場合は、設定された参加条件に該当すること。

Ⅲ．申込方法

該当する申込書（様式1および2）に必要事項を記入の上、個人の方は直接、個人以外の方は所属の教育担当者を通して、教育部までお送りください。※ 非会員も同様

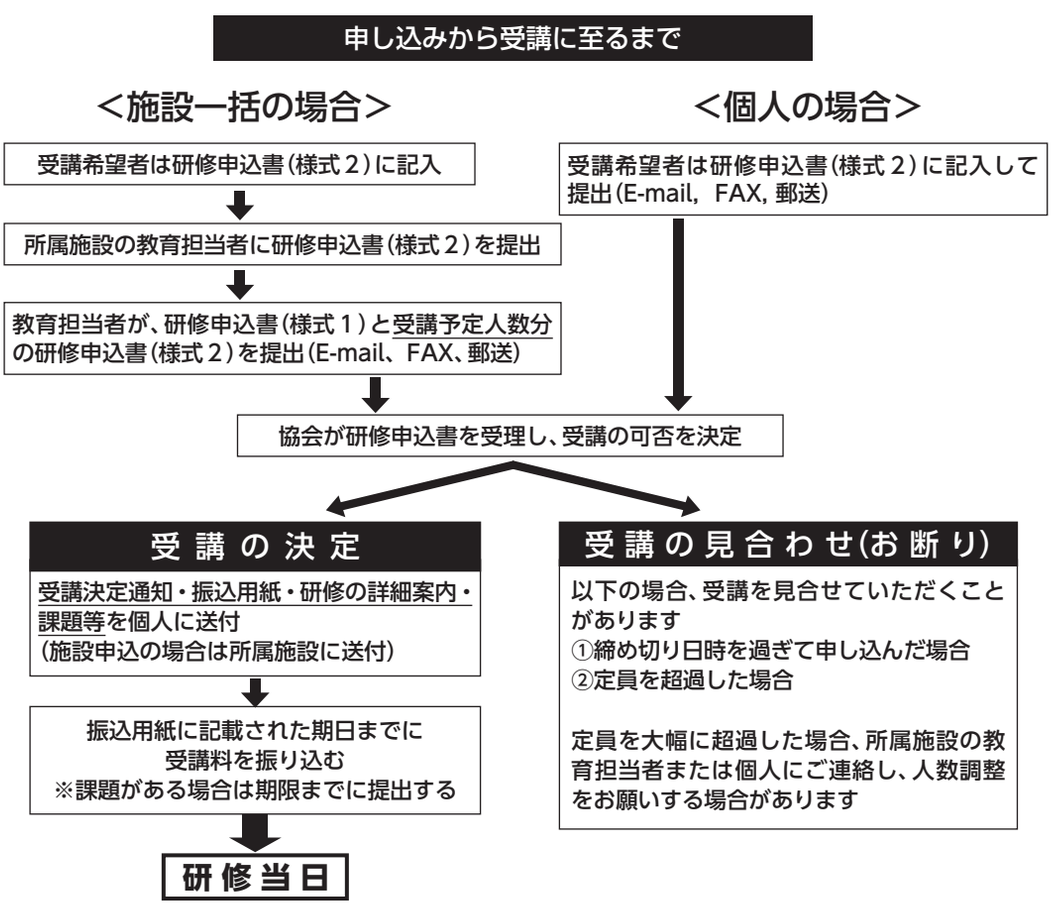
＜申込時の注意事項＞

・申込書は山梨県看護協会ホームページからダウンロードするか、教育計画冊子の該当ページをコピーして使用してください。

・様式1にある振込方法の、受講者の個人振込または施設の一括振込のどちらかを選択し、ご希望の振込方法にチェック☑を入れてください。

・申込書は、E-mail・FAX ・郵送のいずれかの手段でお送りください。

・申込は、定められた申込期間の最終日の17時までとします。



Ⅳ．受講決定

1．受講決定者には、受講決定通知を送付します。

2．受講料の納入について

振込方法：受講決定通知とともに送付された振込用紙を使用し、下記の振込方法の中からいずれかお選びください。

・コンビニエンスストア　　・電子決済（PayPay、LINE Pay）

・2023年7月から電子決済J-Coin Pay・d払い・au PAYでの振込が可能です。

・施設一括払いに限り銀行での振込も可能です。（個人の銀行振込はご遠慮ください）

振込期日：振込用紙に振込期日（支払い期限）を記載しています。**期日までに必ず振り込んでください。期日までに振り込めなかった受講予定者は必ず連絡してください。**

振込手数料：振込手数料は各自で負担してください。

・一旦振り込まれた受講料は返金できません。（講師の都合により開催日が変更され、代替日の受講が不可となった場合や、天災などにより研修が中止になった場合のみ返金します。）

・振込用紙を紛失した場合や施設一括振込で申込人数を変更する場合は連絡してください。

・**振込用紙の払込受領書を紛失した場合、領収書の再発行はできませんのでご注意ください。**

・研修無料受講券を使用する場合、申込時に連絡してください。

※研修無料受講券は、維持管理費を完納した会員に発行される券です。使用期間や利用できる研修など、幾つかの条件があります。詳しくは教育部へお問い合わせください。

Ⅴ．申し込み後の欠席・遅刻・早退

・受講辞退や欠席の場合には、**開催日の前日までに**必ず連絡してください。

・研修当日の遅刻や早退の場合も連絡してください。なお、受講者の都合による欠席や遅刻、早退の場合、受講料の返金はいたしません。

欠席・遅刻・早退の連絡先：公益社団法人山梨県看護協会　教育部　055-236-5050（直通）

Ⅵ．定員超過

各研修は、研修の特徴および教育効果等を考慮し、定員を設けています。定員を大幅に超過した場合、施設毎の公平性を基準に、受講を見合せていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。（該当施設の教育担当者に連絡し、相談させていただきます）

Ⅶ．個人情報の取り扱い

本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本会研修申し込みに際して得た個人情報は、研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

Ⅷ．研修中止・延期時の対応

気象庁の気象予報情報に基づき、以下のことが予想される場合は、研修を延期、または中止といたします。延期の代替日など、ホームページに掲載いたしますので、各自でご確認ください。

・講師が来館できない場合、または研修終了後に帰宅できないことが予想される場合

・研修会場において、台風や大雪などの自然災害による影響が予想される場合

Ⅸ．受講修了時の取り扱い

受講修了要件は、原則として全研修時間の4/5以上の出席となります。またレポート提出および最終日に発表会がある研修は、レポートの提出かつ発表することが条件となります。受講者の変更は認めません。受講修了要件を満たした方には、会員専用Webサイトキャリナースに受講履歴が登録されます。受講履歴が登録されるまでには、研修終了後数ヶ月かかりますのでご了承ください。過去の受講履歴をご自身で記録保管していただくことをお勧めいたします。

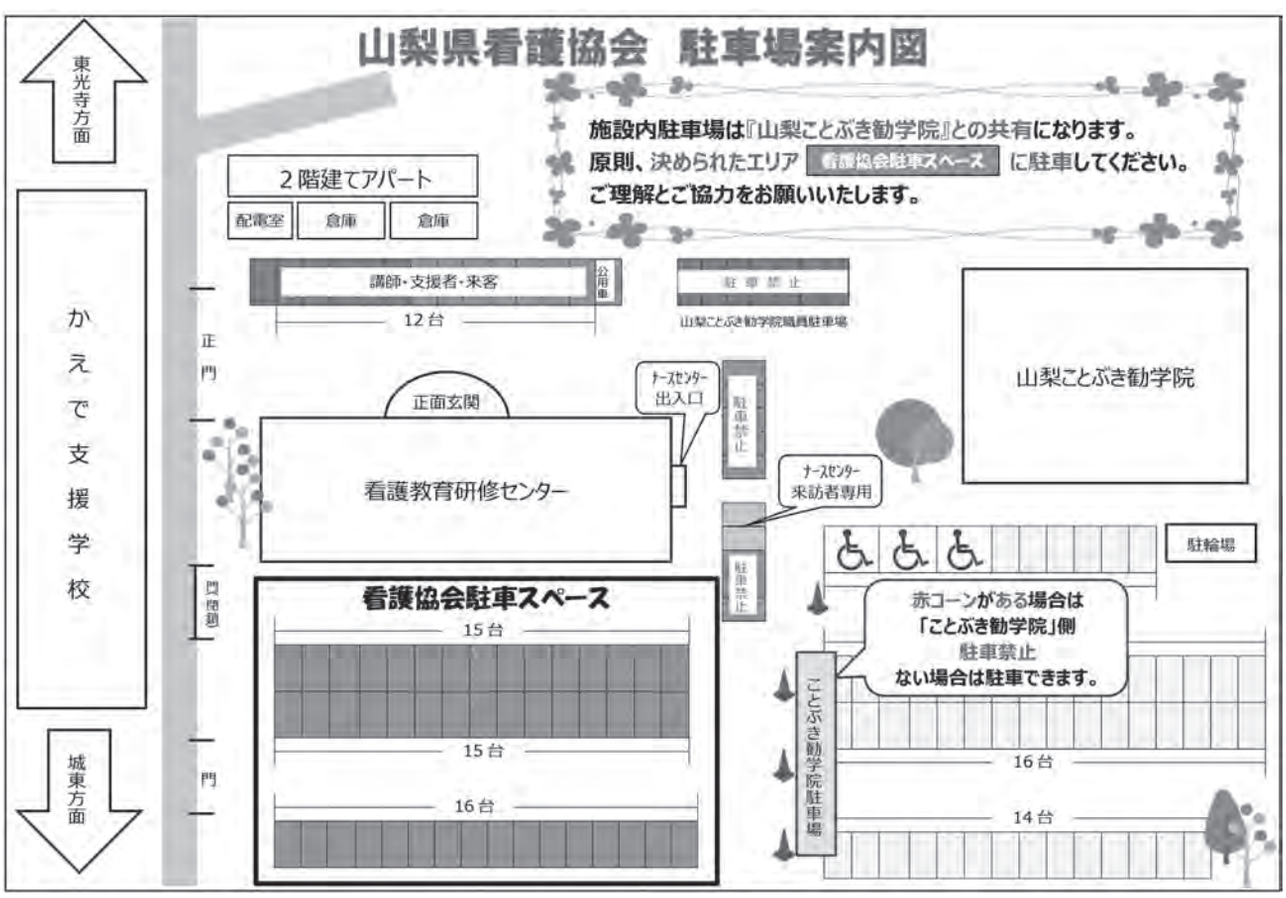
【会員専用ページ キャリナース】

キャリナースは日本看護協会会員専用Webサイトです。ユーザ登録すると、会員情報の確認や変更、研修受講履歴の閲覧が可能になるほか、日本看護学会論文集等の文献検索や各種資料など看護業務に役立つ情報を得ることができます。山梨県看護協会または日本看護協会ホームページ（トップページ）のバナーからアクセスできます。会員の皆様はぜひ登録してください。

会員専用ページ キャリナース　https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101

X．その他

1．感染対策を随時とらせていただきます。（入館確認書、手指消毒、室内換気等）
2．受講する際は、研修に適した服装でお越しください。気温に応じて研修室内の空調設備を使用しますが、寒暖の感じ方には個人差がありますので、適宜、膝掛け等をご用意ください。
3．研修内容の録音、録画は禁止です。発見した場合には機器をお預かりすることがあります。
4．研修で撮影した写真は、協会刊行物やホームページに使用することがあります。
5．配布する資料は原則1人に1部です。
6．協会周辺の飲食店や食料品店は限られていますので、昼食はあらかじめ持参してください。受講者用のポットや電子レンジ等の電気調理器および冷蔵庫等の低温保管場所は用意していません。
7．駐車場は隣接している山梨ことぶき勧学院と共有しています。駐車可能な場所に停めてください。
他の研修や事業が重複する日など、駐車できるスペースが限られ、近隣の駐車場へご案内することがあります。
8．禁煙対策を強化しています。喫煙場所は設けていません。



2023年度　山梨県看護協会教育部研修一覧

※下記は2023年2月末現在のものです。日程が変更される可能性もありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

開催月	開催日	研修名	主な内容	ラダー	定員（名）	受講料および資料代	参照頁	申込期間
5月	①5/10(水)9:30～12:30 ②5/10(水)13:30～16:30 ※①と②は同じ内容	NEW 【新人看護職対象】 身に付けよう！専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力	社会人基礎力とは、看護職として活躍するために必要な社会人基礎力、自分の社会人基礎力を振り返る、養うために心掛ける事	－	各40	1,500円 （会員・非会員共）	25	4/3(月) ～ 4/12(水)
6月	6/1 (木)9:30～12:30 6/20(火)9:30～16:00 **オンライン**	【ファーストレベル受講予定者・経験年数10年目以上】 組織の課題と問題解決思考	組織とは、組織分析、問題解決手法　(演習・課題有)	－	80	4,500円	22	4/20(木) ～ 4/30(日)
	6/5(月)	感染予防【基礎編】感染予防の基礎を学ぼう ～患者さんとあなた自身を守るために～	感染の成立と予防に関する考え方、標準予防策、感染経路別予防策、新型コロナウイルス感染予防策、手指衛生と個人防護具の正しい着脱　(演習有)	Ⅰ～Ⅱ	40	3,000円	16	
	6/6(火)・6/13(火) AM	医療安全【基礎編】基礎から学べる医療安全	医療安全の基礎知識、看護職者の基本的責務と法的責任、事故防止対策の取り組み、医療事故時の対応、KYT 危険予知トレーニング　(演習有)	Ⅰ～Ⅱ	40	4,500円	15	
	6/7(水) **オンライン**	知っておきたい看護職のための栄養管理	栄養障害が身体に及ぼす影響、スクリーニングと必要栄養量の算出、栄養療法の基本と実際、栄養サポートチームの活動、認知症高齢者の栄養管理	Ⅰ～Ⅱ	50	3,000円	16	
	6/8(木)・7/20(木)・8/24(木)・9/14(木)・11/16(木)・2024. 1/11(木)	看護研究【基礎から実践への架け橋編】 研究過程に必要な技術を身に付ける	文献検索、研究計画書の意義と作成、データ収集・分析方法、研究倫理、統計の基本、模擬研究を用いた研究発表のための学習等　(演習有) ※現在取り組んでいる看護研究の個別指導はありません	－	20	18,000円	27	
	6/26 (月)・6/27(火) 両日とも9:30～16:30	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ★2023年度 JNA 収録 DVD 研修 ※診療報酬加算対象研修	認知症高齢者に関する医療の現状と国の取り組み、認知症に関連する疾患と病態・治療、組織で取り組む認知症高齢者ケア、看護に必要なアセスメント・コミュニケーション・援助技術、多職種・看看連携のあり方と進め方　(演習有)	－	60	会　員：6,270円 非会員：9,460円	14	
	6/28(水)	感染予防【実践編】所属部署におけるリンクナースの役割 ～感染リンクナースとして活動するために～	感染対策の基本知識（復習程度）、感染対策の目的、組織におけるリンクナースの役割、事例を用いた感染予防策の検討・リンクナースの役割　(演習有)	Ⅱ～Ⅲ	30	3,000円	16	
	6/29(木) 13：00 ～ 16：00	【中堅看護師対象】 キャリア形成の“これから”を考える	中堅看護師の役割、現場で求められていることと抱えるジレンマ、仕事とプライベートの両立、マインドセット、あるべき姿からありたい姿へ　(演習有)	－	30	1,500円	25	
	6/30(金)	ひとごとじゃない！慢性腎臓病(CKD) ～予防から維持透析まで～	腎臓の構造と働き、新型コロナ感染と透析医療、透析看護各論（CKD 保存期の看護・食事管理支援・ドライウェイト・精神的支援等）	Ⅰ～Ⅱ	30	3,000円	22	
7月	7/4(火) 13：00 ～ 16：00	【新人看護職対象】 看護職として活き活きと働くために ※7/6と同じ内容	今の自分をみつめる、自分を知る、自分の成長を実感する、他施設の新人看護職と語り合う　※技術の研修ではありません　※看護協会紹介有	－	40	1,500円 （会員・非会員共）	25	5/20(土) ～ 5/31(水)
	7/6(木) 13：00 ～ 16：00	【新人看護職対象】 看護職として活き活きと働くために ※7/4と同じ内容	今の自分をみつめる、自分を知る、自分の成長を実感する、他施設の新人看護職と語り合う　※技術の研修ではありません　※看護協会紹介有	－	40	1,500円 （会員・非会員共）	25	
	7/7(金)・8/29(火)・9/3(日)・10/20(金)・11/8(水) オンライン	脳血管障害をもつ人の生活再構築支援 ～急性期から回復期・生活期まで～	脳の解剖生理、脳卒中治療の基礎知識、急性期・回復期・生活期の看護、高次脳機能障害をもつ方へのリハビリテーション、家族支援、介護保険制度　等	Ⅱ～Ⅲ	30	15,000円	21	
	7/10(月)・8/14(月)・9/21(木)・11/13(月)・2024. 2/1(木)	感染予防【応用編】 現場に活かせる感染対策	所属部署（施設）の現状把握、問題の抽出、課題の明確化、具体的な解決策の検討、実践計画書の立案、実践（演習）、実践報告書の作成、実践報告会 ※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます	Ⅲ	30	15,000円	17	
	7/13(木)9:30～16:00 オンライン	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修　改訂版 2022 ※診療報酬加算対象研修	看護補助者の活用促進の背景、看護補助者の位置づけ、看護補助者との協働に関する基本的な考え方、業務実施体制整備、補助者確保と労働環境整備、看護補助者の育成・研修・能力評価、看護補助者体制整備に関する対策案の作成　(演習・事前課題有)	－	40	3,000円	13	
	7/20(木)	ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア	女性のライフサイクルとホルモン動態、仕事を持つ女性特有の健康問題、女性の健康管理、ストレスマネジメント、自己の傾向を知る、最近のトピックス、エクササイズ（ストレッチとヨガ演習有）　※ヨガが初めての方も受講いただけます	Ⅰ～Ⅱ	30	3,000円	19	
	7/21(金)・8/15(火)・9/26(火)　**オンライン**	変わる！あなたの認知症看護 ※診療報酬加算対象研修	認知症の原因疾患・症状・治療、認知症の人を正しく理解する、活用できる社会資源、事例で捉える認知症看護の視点　(演習・事前課題有)	－	60	9,000円	14	
	7/24(月)	医療安全【実践編】 施設の医療安全の役割できていますか？	医療事故の背景、組織における医療安全委員・係の役割、事故事例分析方法（P－mSHELL 分析）・医療安全における自己の役割　(演習有)	Ⅱ～Ⅲ	30	3,000円	15	
	7/24(月)・8/22(火) **オンライン**	【教育委員・研修担当者対象】 施設内研修企画に必要な基礎知識 ～研修企画のプロセスを学ぼう～	教育の必要性、成人学習者の特徴、現任教育の現状と課題、研修企画・評価の基本的要素、事例を基にした研修計画（案）・評価計画（案）の作成 (演習・事前課題有)	－	30	6,000円	23	
8月	8/1(火)・8/2(水)AM	災害看護　【災害はすぐそこに！！】 ～災害看護の基本的知識と私たちが今、行うべきこと～	災害サイクル、CSCATTT、災害発生時の被災地内病院における初期対応、備えとしての平時の予防策、災害教育と防災訓練、TTT（演習）、災害机上訓練（演習）、災害支援時のあり方	－	50	4,500円	13	6/20(火) ～ 6/30(金)
	8/3(木)・9/13(水)・10/17(火)・11/21(火)	【新任副看護師長（主任）対象】 看護管理の第一歩	看護管理に必要なマネジメント、看護管理者の倫理観、問題解決技法の基礎知識（あるべき姿の描出・現状把握・あるべき姿とのギャップ・分析による問題点の抽出・課題の明確化・解決策の立案）、自律した管理者を目指して　(演習有)	－	40	12,000円	22	
	8/7(月)・9/27(水)・10/5(木)・11/1(水)・12/8(金)　**オンライン**	がん看護のアップデート	山梨県のがん対策、がん看護の基礎知識、患者の心理過程、コミュニケーション、症状マネジメント、化学療法、薬物療法、がんサバイバーシップ、意思決定支援、家族ケア、退院調整・退院支援、在宅支援 ※事例検討会はありません	Ⅱ～Ⅲ	30	15,000円	20	

※下記は2023年2月末現在のものです。日程が変更される可能性もありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

開催月	開催日	研修名	主な内容	ラダー	定員（名）	受講料および資料代	参照頁	申込期間
8月	8/10(木)・9/1(金)・9/22(金)・11/17(金)・2024.2/8(木)	医療安全【応用編】 チームで取り組む医療安全	安全文化の醸成、所属部署（施設）の現状把握、問題の抽出、課題の明確化、具体的な解決策の検討、実践計画書の立案、実践（演習）、実践報告書の作成、実践報告会　※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます	Ⅲ	30	15,000円	15	6/20(火)～6/30(金)
	8/23(水)	発達障害の傾向がある大人の特徴を理解した支援 ～スタッフ・学生の指導に活かす～	大人の発達障害を取り巻く現状と課題、大人の発達障害の特徴、発達障害の傾向がある看護学生・看護職に対する支援と取り組みの実際	Ⅱ	50	3,000円	20	
	8/26(土)・9/15(金)	【保健師対象】 災害時における行政保健師の役割と行動	地震や水害などの自然災害や新規感染症禍での災害対応として行政保健師に求められる役割、発災24時間未満・発災24～72時間の判断と行動、受援に関わる役割　（演習・事前課題有）	－	30	6,000円	26	
	8/28(月)・9/11(月) **オンライン**	現場に活かせるせん妄予防 ～発症予防・重症化予防のポイントを学ぶ～	せん妄の基礎知識（原因・悪化促進因子・せん妄の評価・薬物治療）、せん妄に関する現場の課題、アセスメントからケアの流れ、効果的なせん妄予防策、せん妄発症者への対応事例　（演習有）	Ⅱ	30	6,000円	21	
	8/29(火)・8/30(水) AM	【5年目以上看護職対象】 看護の現場で活かすファシリテーターの役割 ～より良いカンファレンス・会議に向けて～	ファシリテーションの基本的知識、問題解決プロセスとファシリテーション、議論を促進するコミュニケーションスキル、よりよいカンファレンスに向けて　（演習有）	－	50	4,500円	24	
9月	9/4(月)	摂食嚥下障害を持つ人への看護	口から食べることの意味、摂食・嚥下のメカニズムとアセスメント、食べるための口作りと各種訓練法、口腔ケア、リスク管理、事例報告（演習有）	Ⅰ～Ⅱ	40	3,000円	20	7/20(木)～7/31(月)
	9/7(木)	看護職のメンタルヘルス ～自分のこころをケアしよう～	看護職の現状、ストレスを知る、ストレスマネージメント、マインドフルネス・セルフコンパッションの効果と実践　（演習有）	－	30	3,000円	25	
	9/8(金)・9/19(火) **オンライン**	褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～	皮膚の解剖生理、創傷治癒過程、褥瘡の発生機序、ずれ対策、体圧分散、スキンケア、外用薬・ドレッシング材・衛生材料の選択、褥瘡経過評価スケールの付け方・使用方法、ケア計画の立案　（演習有）	Ⅰ～Ⅱ	50	6,000円	14	
	9/12(火)・10/3(火)	看護研究【基礎編】 日頃の疑問を研究につなげる	看護研究の基礎知識、文献検索、文献抄読、研究テーマの絞り込み （演習・事前課題有）	－	20	6,000円	27	
	9/21(木)・9/28(木) 1日目**オンライン**・ 2日目対面	【准看護師対象】 看護過程の基本を学ぶ	看護過程とは、看護過程のプロセス、アセスメントの考え方、関連図、看護記録の必要性、記録を書く時の留意点　（演習有）	－	30	6,000円	26	
	9/29(金)・10/13(金)・11/9(木) **オンライン**	呼吸器ケアと循環器ケア ～呼吸不全・心不全に関する知識と技術の向上を目指して～	呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメント、呼吸不全・心不全とリハビリテーション、事例検討、呼吸介助法、聴診法、ポジショニング、体位排痰法 ※実技演習はありません	Ⅱ～Ⅲ	60	9,000円	18	
10月	10/14(土) 9:30～16:30	NEW【経験年数3年目以上・管理者を除く】 看護リフレクション ～看護の質を高める看護実践・体験の語り～	リフレクション・看護リフレクションとは、体験から学ぶとは、看護リフレクションの流れ、看護リフレクションの実際　（演習・事前課題有）	－	30	3,000円	24	8/20(日)～8/31(木)
	10/19(木)	NEW 地域包括ケアシステムにつなげる外来看護	今日の外来医療の変化、外来での在宅療養支援で必要なこと、患者のニーズを的確に把握して支援につなげるポイント、病棟・外来・地域がつながりあった支援体制のあり方　（演習有）	Ⅱ～Ⅲ	30	3,000円	18	
	10/23(月)・11/11(土)	糖尿病看護の基本と行動変容を促す療養支援のコツ	糖尿病とは、糖尿病合併症、検査および治療、患者との接し方、「くせ」と「ずれ」、咀嚼法体験、マインドフルネスやコーチング技法を用いたアプローチ、症例検討　（演習・事前課題有）	Ⅰ～Ⅲ	30	6,000円	21	
	10/27(金)	子どもの心理発達と虐待予防	子どもの身体・心理発達の特徴、アタッチメントと養育支援、子どもの虐待への対応、子どもの視野（チャイルドビジョン）体験	Ⅰ～Ⅲ	40	3,000円	19	
	10/31(火)	【看護管理者・主任以上の中堅看護職・災害委員対象】 災害看護　【山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント】 ～災害対応力を高めるために～	山梨県の災害リスクと防災対策、災害発生時病院で起こること、災害対策委員会の役割と災害教育、災害対策マニュアル整備の考え方、効果的な災害訓練、自施設の課題　（演習・事前課題有）	－	40	3,000円	13	
11月	11/2(木)	希望する最期を迎えるための看護職の役割	在宅療養支援診療所医師の立場から、今日の看取りの現状と課題、多職種連携、ＡＣＰの基本的理解、協働意思決定における問題、もしバナゲーム　（演習・事前課題有）	Ⅱ～Ⅲ	40	3,000円	19	9/20(水)～9/30(土)
	11/7(火)	精神障がい者を理解したコミュニケーション	精神障がい者の思考の特徴・行動との関連性、精神障がい者の行動化の理解と対話、精神障がい者との対面場面の対応に関するロールプレイ　（演習・事前課題有）	Ⅰ～Ⅱ	30	3,000円	19	
	11/28(火)・2024.2/20(火)	病院と地域をつなぐ入退院支援 ～住み慣れた地域で暮らし続けるために～	退院支援マネジメントの基本、地域包括ケアセンター保健師の役割と実践、訪問看護ステーション看護師の役割と在宅療養の実際、レポート作成、実践事例の振り返り　（演習、課題有）	Ⅱ～Ⅲ	40	6,000円	17	
12月	12/9(土)	周術期をめぐる患者の看護	周術期看護の目的、周術期看護に必要な知識、術前～術後の看護、手術室の看護倫理　（演習有）	Ⅰ～Ⅱ	30	3,000円	18	10/20(金)～10/31(火)
	12/12(火)	看護職のためのアンガーマネジメント ～感情コントロールを身につけ、怒りとうまく付き合うために～	アンガーマネジメントとは、怒りが生まれるメカニズム、上手な叱り方・悪い叱り方、怒りの連鎖を断ち切る、自分のタイプを知る　（演習有）	－	50	3,000円	24	
1月	2024.1/18(木)	看護職者としての倫理的感性を磨こう！	看護倫理とは、臨床で直面する倫理的諸問題、意思決定のプロセスとインフォームド・コンセント、事例検討　（演習有）	Ⅰ～Ⅱ	50	3,000円	17	11/20(月)～11/30(木)
	2024.1/23(火)	医療コミュニケーション技法のエッセンス	コミュニケーションスキルの基本（傾聴・共感・受容など）、患者・家族等人間関係を築くための対話の工夫、ロールプレイ　（演習有）	Ⅰ～Ⅲ	40	3,000円	16	
3月	2024.3/3(日)	ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導 ～自立したスタッフを育成するために～	自立・成長を支援するためのティーチング・コーチングの使い分け、効果的な支持の方法、効果的な助言の方法、コーチングの方法　（演習有）	－	40	3,000円	24	1/20(土)～1/31(水)

2023年度研修目次（分類別）

※分類1～5は日本看護協会分類に準ずる、分類6～7は山梨県看護協会独自

分類		通し番号	研修名	ラダー	ページ番号
1	「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022	―	13
		2	災害看護【災害はすぐそこに！！】	―	13
		3	災害看護【山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント】	―	13
		4	褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～	―	14
		5	2023年度JNA収録DVD研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	―	14
		6	変わる！あなたの認知症看護	―	14
2	ラダーと連動した継続教育	7	医療安全【基礎編】基礎から学べる医療安全	Ⅰ～Ⅱ	15
		8	医療安全【実践編】施設の医療安全の役割できていますか？	Ⅱ～Ⅲ	15
		9	医療安全【応用編】チームで取り組む医療安全	Ⅲ	15
		10	医療コミュニケーション技法のエッセンス	Ⅰ～Ⅲ	16
		11	知っておきたい看護職のための栄養管理	Ⅰ～Ⅱ	16
		12	感染予防【基礎編】感染予防の基礎を学ぼう	Ⅰ～Ⅱ	16
		13	感染予防【実践編】所属部署におけるリンクナースの役割	Ⅱ～Ⅲ	16
		14	感染予防【応用編】現場に活かせる感染対策	Ⅲ	17
		15	看護職者としての倫理的感性を磨こう！	Ⅰ～Ⅲ	17
		16	病院と地域をつなぐ入退院支援	Ⅱ～Ⅲ	17
		17	地域包括ケアシステムにつなげる外来看護	Ⅱ～Ⅲ	18
		18	呼吸器ケアと循環器ケア	Ⅱ～Ⅲ	18
		19	周術期をめぐる患者の看護	Ⅰ～Ⅱ	18
		20	希望する最期を迎えるための看護職の役割	Ⅱ～Ⅲ	19
		21	子どもの心理発達と虐待予防	Ⅰ～Ⅲ	19
		22	ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア	Ⅰ～Ⅱ	19
		23	精神障がい者を理解したコミュニケーション	Ⅰ～Ⅱ	19
		24	発達障害の傾向がある人の特徴を理解した支援	Ⅱ	20
		25	がん看護のアップデート	Ⅱ～Ⅲ	20
		26	摂食嚥下障害をもつ人への看護	Ⅰ～Ⅱ	20
		27	現場に活かせるせん妄予防	Ⅱ	21
		28	糖尿病看護の基本と行動変容を促す療養支援のコツ	Ⅰ～Ⅲ	21
		29	脳血管障害をもつ人の生活再構築支援	Ⅱ～Ⅲ	21
		30	ひとごとじゃない！！慢性腎臓病（CKD）	Ⅰ～Ⅱ	22
		31	褥瘡ケアの基本的知識　※研修番号4再掲	Ⅰ～Ⅱ	14
3	看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	32	【ファーストレベル受講予定者・経験年数10年目以上対象】 組織の課題と問題解決思考	―	22
		33	【新任副看護師長（主任）対象】看護管理の第一歩	―	22
		34	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022　※研修番号1再掲	―	13
4	専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	35	【教育委員・研修担当者対象】施設内研修企画に必要な知識	―	23
5	資格認定教育	36	認定看護管理者教育課程セカンドレベル　※隔年開催	―	23
		37	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	―	23
6	人材育成	38	看護職のためのアンガーマネジメント	―	24
		39	【経験年数3年目以上・管理者を除く】看護リフレクション	―	24
		40	ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導	―	24
		41	【5年目以上看護職対象】看護の現場で活かすファシリテーターの役割	―	24
		42	看護職のメンタルヘルス	―	25
		43	【新人看護職対象】身に付けよう！専門職業人として働くために必要な社会人基礎力	―	25
		44	【新人看護職対象】看護職として活き活きと働くために	―	25
		45	【中堅看護師対象】キャリア形成の”これから”を考える	―	25
		46	【准看護師対象】看護過程の基本を学ぶ	―	26
		47	【保健師対象】災害時における行政保健師の役割と行動	―	26
		48	【ファーストレベル受講予定者・経験年数10年目以上対象】 組織の課題と問題解決思考　※研修番号32再掲	―	22
7	看護研究	49	看護研究【基礎編】日頃の疑問を研究につなげる	―	27
		50	看護研究【基礎から実践への架け橋編】研究過程に必要な技術を身に付ける	―	27

分類１　「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
1．看護補助者活用推進 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022 **※診療報酬加算対象研修** 1日間　オンライン 7月13日（木） 9：30 ～ 16：00	【研修のねらい】 効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者体制整備の一助となる。 午前は、日本看護協会講師による看護補助者の活用に関する制度の理解、職員との連携と業務整理、雇用形態と処遇等、育成・研修・能力評価の講義です。午後は、午前中の講義をふまえ、看護補助者体制整備に関する課題への対策案の作成を行います。山梨県内施設の受講者と情報交換しながら、グループワークを行い、職場環境改善の一助になることを期待しています。 **修了証の発行には、全時間の受講が必須です。**	
	【主な内容（講義・演習）】 ・看護補助者の活用促進の背景 ・看護補助者の位置づけ ・看護補助者との協働に関する基本的考え方 ・業務実施体制の整備 ・補助者確保と労働環境整備 ・看護補助者の育成・研修・能力評価 ・看護補助者体制整備に関する課題に対する対策案の作成	【講師】 日本看護協会 理事 等 【演習支援者】 各病院等の認定看護管理者 看護管理者 8名程度
2．災害看護 災害はすぐそこに！！ ～災害看護の基本知識と私たちが今、行うべきこと～ 1.5日間 ①8月1日（火） ②8月2日（水） ②のみ9：30 ～ 12：00	【研修のねらい】 災害看護の基本的知識と災害発生時に所属部署でとるべき行動を想定でき、自己の果たすべき役割を見出す。 幅広い対象者向けの研修です。災害の基本的な内容や災害時に病院看護師として取る行動について具体的に学んでいきます。また、病院看護師が災害対策に日頃どのような研修を受けているか興味をお持ちの、行政保健師、訪問看護師、高齢者介護施設に勤務する看護師等、様々な現場で働く看護職にも参加いただきたい研修です。 受講後は災害看護【山梨の災害リスクと看護職の災害マネジメント】の受講をお勧めします。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・災害とは、災害サイクル、CSCATTT ・災害看護の考え方、役割 ・災害時の初期対応、平時の予防対策 ・備えとしての対策（災害教育、防災訓練） ・災害対応に関する机上演習 ・災害支援時の在り方	【講師】 山梨赤十字病院　看護師長 小山　ひろ美
3．災害看護 山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント ～災害対応力を高めるために～ 1日間 10月31日（火） 9：30 ～ 16：00 **【受講対象】** 看護管理者・主任以上の中堅看護職・災害委員	【研修のねらい】 山梨の災害リスクの理解と平時や災害時の災害対策委員・看護管理者の役割や対応について考える。 山梨県の地形から考えられる災害リスクについて理解することは、災害委員・管理者として所属施設の防災対策を考える上でとても重要です。災害時に迅速に対応するための平時からの災害マネジメントを学び、効果的な看護職の災害対応力について、一緒に考えてみませんか。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・山梨県の地質・地形から考える災害リスク （地震、豪雨・豪雪、火山噴火） ・災害発生時病院で生じる事 ・災害対策委員等の役割と災害教育 ・災害対策マニュアル整備の考え方 ・効果的防災訓練 ・自施設の課題への対応検討	【講師】 山梨県立大学　客員教授 輿水　達司 公益財団法人小千谷総合病院 元看護部長 NPO法人防災サポートおぢや元理事 佐藤　和美

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
4．褥瘡ケア 褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～ 2日間　オンライン ①9月 8 日(金) ②9月19日(火)	【研修のねらい】 臨床における褥瘡に関する基本的知識を理解し、褥瘡を予防する方法を学ぶ。褥瘡経過評価スケールを活用して、個別的なケア計画が立案できる。 褥瘡予防の基本的知識やずれ対策・圧再分散など、褥瘡を発生させないことに重点を置いた学習をし、それらの知識を活かしつつ、実際の褥瘡事例をもとに具体的なケア計画の立案を行います。実践力の獲得が期待できます。	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・褥瘡とは、褥瘡発生機序 ・褥瘡のリスクアセスメント、体圧分散マットレス ・創傷治癒過程、スキンケア、背ぬき、ポジショニング ・外用薬、ドレッシング材、衛生材料 ・DESIGN-R®からDESIGN-R® 2020へ ・褥瘡経過評価スケールの点数の付け方、評価方法 2日目 ・ケア計画の立案（急性期事例・慢性期事例） ・DESIGN-R® 2020を用いた採点、評価	【講師】 山梨県立中央病院 院長補佐 塚本　克彦 市立甲府病院　新井　佳那子 山梨県立中央病院　志村　友紀 甲府共立病院　林　幸恵 上記3名皮膚・排泄ケア認定看護師 JCHO山梨病院　桑田　幸子 山梨厚生病院　手塚　奈緒美 上記2名皮膚・排泄ケア認定看護師 特定行為研修修了者 【演習支援者　※事例提供者を含む】 皮膚・排泄ケア認定看護師　4名
5．認知症看護 2023年度 JNA 収録 DVD 研修 認知症高齢者の看護実践に 必要な知識 **※診療報酬加算対象研修** 2日間　DVD 視聴 ①6月26日(月) ②6月27日(火) いずれも9：30 ～ 16：30	【到達目標】 認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる。入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる。 **修了証の発行には、全時間の受講が必須です。** ※DVD研修については、資料印刷を外部委託する都合上、受講決定後のキャンセルはできませんのでご承知ください（受講料をいただきます）。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・認知症高齢者に関する医療の現状と国の取り組み ・認知症に関連する疾患と病態、治療 ・組織で取り組む認知症高齢者ケア ・アセスメント、コミュニケーション、援助技術 ・多職種・看看連携のあり方と進め方 ・適した療養環境と調整方法 ・特有な倫理的課題、意思決定支援	【講師】 国立がん研究センター先端医療開発センター 小川　朝生 他 【演習支援者】 認知症看護認定看護師　1名
6．認知症ケア（複数日）＊ 変わる！ あなたの認知症看護 3日間　オンライン ①7月21日(金) 9：30 ～ 14：30 ②8月15日(火) 9：30 ～ 16：30 ③9月26日(火) 9：30 ～ 15：30 **※診療報酬加算対象研修**	【研修のねらい】 認知症の方1人ひとりに個別性のある看護を実践するための認知症看護の基礎的知識・技術・態度を習得する。 認知症高齢者の方との関わりやコミュニケーションに悩みを抱える看護職者を対象にしています。認知症看護のコツやヒント、やりがいや魅力を理解するとともに、認知症看護が“わかり”、明日からのご自身の認知症看護が“変わる”ことを目指します。 **修了証の発行には、全時間の受講が必須です。**	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・認知症の原因疾患と病態生理、治療 ・行動・心理症状（BPSD)、せん妄の予防と対応法 ・国および山梨県の動向、現状、取り組み　等 2日目 ・コミュニケーション方法、療養環境の調整方法 ・認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 ・家族支援、在宅療養者支援 3日目 ・認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術（入院時、在宅療養含む)、事例検討	【講師】 日下部記念病院 病院長　久保田　正春 日下部記念病院 精神保健福祉士　精進　直幸 山梨県立大学 看護実践開発研究センター 狩野　英美 ますほ訪問看護ステーション 石井　啓子 山梨赤十字病院　乙顔　正美 上記3名、認知症看護認定看護師 【演習支援者】 認知症看護認定看護師　7名

分類2　ラダーと連動した継続教育

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
7．医療安全【基礎編】 基礎から学べる医療安全 1.5日間 ①6月 6 日(火) ②6月13日(火) ②のみ9：30 ～ 12：00 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 医療安全に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、日常業務において医療安全対策を実施する。 医療安全の基本的知識の習得をめざした研修とし、医療安全の係や委員でなくても、医療安全に興味のある看護職が参加できる研修として企画しました。安全に対する意識を高め、自部署での取り組みを振り返る機会を提供します。グループワークでは、KYTの演習を行い、演習を通して危険予測の仕方を学び職場で実践する力を身に付けます。病院看護職だけでなく、訪問看護師など在宅医療に携わる看護職の受講もお待ちしています。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・医療安全の基礎知識 ・看護職者の基本的責務と法的責任 ・医療事故発生時の対応 ・事故防止対策への取り組み ・危険予知トレーニングの考え方、仕方	【講師】 甲府共立病院　看護師長 前GRM　和知　えり子
8．医療安全【実践編】 施設の医療安全の役割できていますか？ 1日間 7月24日(月) 【受講対象】 ・医療安全に関する病棟の係、委員になる予定の者 ・経験年数2年目以上で医療安全に興味があり、委員と協力して改善に取り組める方 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】	【研修のねらい】 医療安全に関する動向やEBMに基づく医療安全対策、所属部署の医療安全に関する委員・係の役割、事故事例分析の方法（Pm−SHELL分析）を学び、自己の果たす役割を見出すことができる。 インシデント・アクシデントについて、事故発生の背計を分析することが課題となっていることも多いです。この研修では、医療安全に関する動向を学びながら、実態把握できるような事故事例分析の方法（Pm−SHELL分析）を学び、施設で役割を担った際、委員として自分がとるべき役割を見出すことを目指しています。医療安全の役割でないスタッフも、事故事例分析を通して自ら事故防止のシステムについて考えることができます。 研修受講後は、現場の医療安全対策の課題解決の立案、実施に取り組んでいけるように、医療安全【応用編】の受講をお勧めします。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・医療安全に関する動向と情報収集方法 ・組織における医療安全係、委員の役割 ・事故事例分析方法（Pm−SHELL分析）	【講師】 富士吉田市立看護専門学校 専任教員　元GRM　流石　和美 【演習支援者】 施設のGRM・協会の安全推進委員 6～7名
9．医療安全【応用編】＊ チームで取り組む医療安全 5日間 ① 8月10日(木) ② 9月 1 日(金) ③ 9月22日(金) ④11月17日(金) ⑤2024年2月8日(木) 【受講対象】 ・医療安全委員などの役割を担っている者or今後担う予定の者 ・医療安全に関する課題に取り組む意思のある者 ・医療安全【基礎編】【実践編】を受講していること （または過去に同内容の研修を受講していること）が望ましい 【ラダー　Ⅲ】	【研修のねらい】 医療安全に関する知識を深め、所属部署（部署施設）の医療安全対策における解決策を検討し、計画を基に主体的に実践し、その成果を報告できる。 医療安全に関する知識を統合させ、自らのテーマ（目標）を設定し、実践計画書の立案・実施・考察（評価）を行います。演習支援者による助言・相談を受けながら、最終的に実践報告書をまとめ発表することで、自らの成長を認め、更なる課題を見出すことができるでしょう。 **※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます**	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・安全文化醸成への取り組み ・医療安全教育、職員教育 ・医療安全管理体制の実際、安全対策の実際 ・問題解決の検討方法、分析方法　等 2日目 ・医療安全とコミュニケーション ・医療安全に関する自己の関心や疑問の抽出 ・問題の根拠となる情報収集、分析、課題の明確化（焦点化） ・昨年度受講者の医療安全実践報告 3日目 ・実践計画書の精錬　・実践スケジュールの検討 4日目 ・進捗状況報告会（中間報告）　・実践報告会に向けた準備 5日目 ・実践報告会	【講師】 健康科学大学看護学部 教授　小林　美雪 山梨大学医学部附属病院看護部管理室 医療の質・安全管理部 看護師長・GRM　伊藤　雅美 【演習支援者】 山梨県内病院　GRM等　3～4名 【実践報告者】 2022年度医療安全【応用編】 受講者　2名

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
10．コミュニケーション 医療コミュニケーション技法のエッセンス 1日間 2024年1月23日（火） 【ラダー　Ⅰ～Ⅲ】	【研修のねらい】 コミュニケーション技法の基本を学び、看護職として患者、療養者、家族、医療従事者を含めた人間関係のより良い構築方法について理解する。 患者の意思の尊重や個別性に合ったケアをするには、専門職としてのコミュニケーショ技術が必要であると言われていますが、その技術の練習の機会や研修は多くありません。また、最近では、患者や家族との対話に加えて、医師や他職種とのやりとりに悩みを抱える声を聞きます。患者や療養者と同じ目線に立ち、一緒に喜び、悩み、悲しむことができるパートナーシップについて、実践的に学べる研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・医療者に求められるコミュニケーション技能 ・医療コミュニケーションスキルの基本（傾聴・共感・受容） ・説明場面でのポイント ・LEANのモデル ・チーム医療の中のコミュニケーション ・シナリオを用いたロールプレイ	【講師】 岐阜大学医学教育開発研修センター 教授　藤崎　和彦
11．栄養管理 知っておきたい看護職のための栄養管理 1日間　オンライン 6月7日（水） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 栄養障害が身体に及ぼす影響・スクリーニングおよび必要栄養量の算出方法、栄養療法の基本と実際など、看護職が押さえておくべき栄養管理全般について学ぶ。 外来、病棟、在宅、どの場面においても栄養管理は大切です。この研修では、栄養に関する基礎知識や栄養障害による身体への影響、アセスメントや実践等を学びます。経験年数・職場を問わず（病院、在宅等）、どなたでも受講いただけます。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・栄養サポートチームの活動 ・栄養障害が体に及ぼす影響 ・スクリーニングと必要栄養量の算出 ・栄養療法の基本と実際	【講師】 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター集中ケア認定看護師 NST専門療養士 臨床栄養代謝専門療養士 川畑　亜加里
12．感染予防【基礎編】 感染予防の基礎を学ぼう ～患者さんとあなた自身を守るために～ 1日間 6月5日（月） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 感染予防に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、日常業務において感染予防を実践する。 CDC ガイドラインの標準予防策の原則をもとに、医療従事者として、最低限身につけておきたい基礎知識を学ぶことができます。個人防護具の着脱及び正しい手洗い方法（演習）なども学びます。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・感染の成立と予防に関する考え方 ・標準予防策 ・感染経路別予防策 ・新型コロナウイルス感染予防策 ・手指衛生と個人防護具の正しい着脱	【講師】 山梨大学医学部附属病院 感染管理認定看護師　窪川　佳世 【演習支援者】 感染症看護専門看護師ないし感染管理認定看護師　2名
13．感染予防【実践編】 所属部署におけるリンクナースの役割～感染リンクナースとして活動するために～ 1日間 6月28日（水） 【受講対象】 ・感染の基礎知識を持っていること、感染に関する病棟の係、委員や予定の看護職 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】	【研修のねらい】 リンクナースとしての役割意識が持て、現場での活動方法を見出す。 感染予防・管理の基礎的知識を活用し、感染症が発生した際の感染対策を立案し現場で実践できることを目指しています。リンクナースとして何をしたらよいかわからないと悩んでいる皆さんにお勧めです。また、病棟の係・委員と協力して、現場の感染対策を考えていける看護職も受講対象です。 研修受講後は実施への知識を深めるためには感染予防【応用編】もあります。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・感染に関する動向と情報収集方法 ・経路別標準予防策（おさらい） ・組織におけるリンクナースの役割 ・自施設のマニュアルを確認 ・リンクナースの活動の実際 ・事例検討	【講師・演習支援者】 市立甲府病院 感染管理認定看護師　九川　卓也 【演習支援者】 感染管理認定看護師　6名

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
14．感染予防【応用編】＊ 現場に活かせる感染対策 5日間 ① 7月10日（月） ② 8月14日（月） ③ 9月21日（木） ④11月13日（月） ⑤2024年2月1日（木） 【受講対象】 ・感染対策に関する役割を担っている者 or 今後担う予定の者 ・感染対策に関する課題に取り組む意思のある者 ・感染予防【基礎編】【実践編】を受講していること（または過去に同内容の研修を受講していること）が望ましい 【ラダー　Ⅲ】	【研修のねらい】 感染に関する知識を深め、所属部署（部署施設）の感染対策における解決策を検討し、計画を基に主体的に実践し、その成果を報告できる。 感染対策に関する知識を統合させ、自らのテーマ（目標）を設定し、実践計画書の立案・実施・考察（評価）を行います。演習支援者による助言・相談を受けながら、最終的に実践報告書をまとめ発表することで、自らの成長を認め、更なる課題を見出すことができるでしょう。 **※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます**	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・山梨県における感染対策の現状と課題 ・感染対策における看護師の役割 ・現場に潜む感染の課題と取り組みのヒント 2日目 ・職員教育、データの収集方法、まとめ方、表し方 ・感染対策に関する自己の関心や疑問の抽出 ・問題の根拠となる情報収集、分析、課題の明確化（焦点化） ・昨年度受講者の感染対策実践報告 3日目 ・実践計画書の精錬 ・実践スケジュールの検討 4日目 ・進捗状況報告会（中間報告） ・実践報告会に向けた準備 5日目 ・実践報告会	【講師】 上野原市立病院 感染管理認定看護師　　山田　かつ美 健康科学大学看護学部 講師　　堀口　まり子 【演習支援者】 感染管理認定看護師　　4名 【実践報告者】 2022年度感染予防【応用編】 受講者　　2名
15．看護倫理＊ 看護職者としての倫理的感性を磨こう！ 1日間 2024年1月18日（木） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 看護倫理に関する基礎的知識を学び、倫理的問題を解決するための考え方を理解する。 看護実践において倫理的問題に遭遇することは多いです。看護倫理は、看護を実践する上で基盤となります。看護倫理を学ぶことで、倫理的感受性を高め、より患者に寄り添った看護の実践や自己の看護観を見つめる機会となります。すべての経験年数の看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）を対象として開催します。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・看護倫理とは ・看護倫理に関連する理論 ・患者・家族の意思決定のプロセス ・臨床で直面する倫理的問題 ・事例検討	【講師】 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 助教　　慢性疾患看護専門看護師 武田　真弓
16．退院支援＊ 病院と地域をつなぐ入退院支援 ～住み慣れた地域で暮らし続けるために～ 2日間 ①11月28日（火） ②2024年2月20日（火） 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】	【研修のねらい】 入退院支援の基本的知識を学び、実践に取り組み、その経過や成果を報告することで、今後の更なる課題を見出す。 病院と地域の連携についての基本的な考え方やノウハウ、一連のプロセスを学んだ後、日々の勤務の中で、患者さんの退院支援でアセスメントすべきことは何か、大切にすべきことは何か、今の自分が最大限できることは何かを常に意識しつつ、看護師以外の他職種ともチームワークを高め合いながら、退院支援を実践してみましょう。<u>※1日目と2日目の間に実践レポートの課題があります</u>	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・退院支援マネジメントの基本 ・地域包括支援センターにおける保健師の役割と実践 ・訪問看護師の役割と在宅療養の実際 ・実践レポートの書き方 2日目 ・実践事例の検討	【講師】 山梨県立大学看護学部 地域・精神健康支援看護学 教授　　泉宗　美恵 他 【演習支援者】 2023年度訪問看護等在宅ケア推進委員

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
17．外来看護 NEW 地域包括ケアシステムにつなげる外来看護 1日間 10月19日（木） 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】 【受講対象】 ・外来業務に従事している看護師、従事したことのある看護師 ・在宅療養支援に興味のある看護職（保健師・訪問看護師を含む）	【研修のねらい】 在宅療養支援のための外来看護の意義や役割を理解し、外来での支援のあり方について学ぶ。 2020年12月、「医療計画の見直し等に関する検討会」で「外来機能の明確化・連携、かかりつけ医機能の強化等に関する報告書」が出され、在宅療養生活の継続や生活の質を維持した支援に貢献できる看護の推進の重要性が言われています。地域包括ケアシステムが推進され、病院完結から地域完結の医療に転換しつつある今、医療と在宅をつなぐ外来における在宅療養支援としての看護職の役割や機能について理解し、令和の時代に対応した外来看護について学びを深めましょう。外来勤務の看護職以外の方の受講も推奨いたします。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・今日の外来医療の変化 ・診療報酬からみた在宅療養支援 ・自施設の外来看護の現状を振り返る ・継続看護の重要性（入院前支援、退院後支援など） ・外来における在宅療養支援に必要なこと ・患者のニーズを的確に把握して支援につなげるポイント ・病棟、外来、地域がつながりあった支援体制のあり方 ・外来看護師の力量形成、役割発揮に向けて	【講師】 慶應義塾大学 看護医療学部 健康マネジメント研究科 教授　永田　智子
18．急性期看護（呼吸器・循環器）＊ 呼吸器ケアと循環器ケア ～呼吸不全・心不全についての知識と技術の向上を目指して～ 3日間　オンライン ①９月29日（金） ②10月13日（金） ③11月９日（木） 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】	【研修のねらい】 呼吸不全、心不全のある患者のアセスメントをし、異常を早期発見して対応できる知識と技術を学ぶ。 呼吸不全や心不全の看護ケアの向上を目指した研修です。解剖生理、呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメント、呼吸不全・心不全のリハビリテーション、最終日には肺や気管の位置確認、呼吸介助法、聴診法、ポジショニング、体位排痰法等を認定看護師や専門看護師、理学療法士の先生方から学びます。“明日から実践に活かせる”研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 １日目 ・呼吸器系および循環器系の基礎知識とフィジカルアセスメント ２日目 ・急性呼吸不全と看護、排痰ケア ・慢性呼吸不全と看護、在宅療養の実際 ・心不全と看護 ・心臓リハビリテーション、呼吸リハビリテーション ３日目 ・聴診法 ・ポジショニング ・呼吸介助法、咳介助法 ・体位排痰法　　等	【講師・演習支援者】 山梨県立中央病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 乙黒　恵子 訪問看護ステーションすみ 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 丸茂　砂百合 甲府共立病院　望月　ひとみ 富士吉田市立病院　山口　昴 上記2名、集中ケア認定看護師 富士吉田市立病院 急性・重症患者看護専門看護師 渡邊　泰子 石和共立病院 総合リハビリテーション室 室長　山田　洋二 【演習支援者】上記講師のほか 県内病院　リハビリテーション科 室長・チーフ・主任　等　4名
19．周術期看護 周術期をめぐる患者の看護 1日間 12月9日（土） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 手術前～術後回復期までの周術期看護の基本的な知識・態度を習得する。 手術を受ける患者の理解や手術前中後、それぞれの時期の看護の目的や役割を学びます。手術中の看護については、手術看護の最近の動向、手術体位、感染予防などに関する看護を学びます。 手術室勤務の方だけでなく、周術期看護に関わる方にも受けていただきたい研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・手術を受ける患者の理解 ・手術前中後の看護の目的と役割 ・手術室看護師の役割と責務、看護の倫理 ・麻酔が患者にあたえる影響 ・手術体位、手術に関連する機械等の影響とその予防 ・手術室の感染対策 ・周術期の看護のトピックス　等 ・日帰り手術を受ける人への看護	【講師】 山梨大学医学部附属病院 看護師長　櫻本　かおり 山梨大学医学部附属病院 副看護師長　手術室看護認定看護師 溝口　真由美

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
20．看取りの看護 希望する最期を迎えるための看護職の役割 1日間 11月2日（木） 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】	【研修のねらい】 看取りについて理解を深め、本人が希望する最期を迎えるための意思決定支援や多職種連携における看護職の役割を学ぶ。 病院、在宅を問わず、本人が希望する最期を迎えるために、多職種連携のカギとなる看護職の役割は大きく、そのため看取りについての理解を深め、患者・家族に寄り添いながら支援する能力の向上を意図して企画しました。もしバナゲームを通して、自己の価値観等を見つめる機会になります。病院、在宅を問わず、看取りについての理解を深められる研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・在宅療養支援、診療所医師の立場から ・今日の看取りの現状と課題 ・多職種連携 ・事前に寄せられた課題や事例に関する意見交換 ・アドバンスケアプランニング（ACP）とは ・協働意思決定における問題 ・もしバナゲーム™	【講師・演習支援者】 在宅療養支援診療所 上條内科クリニック 院長　上條　武雄 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 講師　高岸　弘美
21．小児看護 ＊ 子どもの心理発達と虐待予防 1日間　オンライン 10月27日（金） 【ラダー　Ⅰ～Ⅲ】	【研修のねらい】 子どもの成長や心理発達の理解と子どもを守るために、虐待予防や養育環境に関して支援を考える。 子どもの虐待の報告件数の増加し、児童虐待による死亡事例も後を絶たない状況です。虐待を受けている子どもは、身体的発達だけでなく心理的発達も影響を受け、リストカットなど様々な問題も抱えやすいとも言われています。医療機関や市町村などの行政機関で働く看護職は、児童虐待や虐待を疑わせる事例に関わらなければならない場合もあります。看護職が子どもの心理的発達や、養育環境の影響などの知識を持ち、子どもの虐待への支援への示唆を得る機会となるよう企画しました。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・子どもの心理と発達の特徴 ・子どもの虐待対応 ・フィジカルアセスメント（子どもの視野体験を含む）	【講師】 元 山梨県立北病院　精神科医師 江間　彩子 山梨赤十字病院　長田　栄子 市立甲府病院　小泉　恵理子 上記2名、小児救急看護認定看護師
22．母性看護 ＊ ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア 1日間 7月20日（木） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 思春期から中高年期における女性のライフサイクルと女性特有の健康問題について学び、ケアの必要性やヘルスケアについて理解できる。 女性はホルモンバランス等の影響を受けやすく、心身の不調は日々の生活や仕事、人間関係にも影響を及ぼします。この研修で女性の健康問題や必要なケアを理解することで、ご自身の健康を振り返る機会になり、職場スタッフの健康相談への対応のヒントが見出せるかもしれません。後半はストレッチとヨガの演習を予定しています。※ヨガが初めての方も受講いただけます。ヨガマットを貸与します。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・女性のライフサイクルとホルモン動態 ・仕事を持つ女性特有の健康問題 （不眠、月経障害、不妊、更年期障害 等） ・女性の健康管理 ・ストレスマネジメント ・自己の傾向を知る ・最近のトピックス ・エクササイズ（ストレッチとヨガ体験）	【講師】 山梨大学大学院総合研究部 生涯発達看護学 母性看護学 助産学 教授　小林　康江 山梨大学大学院総合研究部 生涯発達看護学 母性看護学 助産学 助教　佐々木　美果 Prana Yoga & Ayurveda 主宰 ヨガセラピスト　石原　里佳子
23．精神疾患患者の理解 精神障がい者を理解したコミュニケーション 1日間 11月7日（火） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 精神障がい者の思考と行動の特徴などを理解し、対象者も自分も不安を感じないようなコミュニケーションの取り方を学ぶ。 精神科では、患者の疾患から来る症状や向精神薬などにより、コミュニケーションも影響を受けやすく、そのため看護職の患者の特徴に応じたコミュニケーションスキルが大切になります。この研修では、看護職がコミュニケーション能力を高めることにより、精神障がい者が自分の考えや自分らしさを表現でき、それを支援することで、その人らしさを支えることができることをねらいとしています。ロールプレイを通して、体験しながら具体的にどのように対応したほうが良いのか、また治療的コミュニケーション等について学ぶことができます。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・精神障がい者の思考と行動の特徴 ・精神障がいの疾患や症状特徴に応じたコミュニケーションの考え方 ・精神障がい者のコミュニケーションのあり方 （精神障がい者と対面場面の対応に関するシナリオ作り、ロールプレイ）	【講師】 山梨県立北病院 精神看護専門看護師　武井　千寿 【演習支援者】 精神看護専門看護師　2名

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
24．発達障害 発達障害の傾向がある大人の特徴を理解した支援 ～スタッフ・学生の指導に活かす～ 1日間 8月23日（水） 【ラダー　Ⅱ】	【研修のねらい】 発達障害の傾向のあるスタッフ・学生の特徴を理解し、その人が自分らしい社会生活を送れるための支援について考える。 平成17年4月、発達障害者支援法に基づいた取り組みがスタートしました。発達障害のある人の理解やそれぞれのライフステージ（年齢）にあった適切な支援を受けられる体制を整備することを目指しています。医療や看護の臨床現場においても、発達障害を持ち職場適応に困難を感じている人や指導に困難を感じている指導者もいることが予想されます。発達障害をもつ人または傾向のある人の特徴やよりよい支援方法を学び、彼らが自分らしく働けるための支援を考える機会とすることをねらいとしています。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・大人の発達障害の特徴、分類と基準 ・大人の発達障害を取り巻く現状と課題 ・発達障害支援法、発達障害を持つ人への対応 ・発達障害傾向があるスタッフに対する支援 ・事例検討	【講師】 山梨県立北病院 精神科医長　長谷部　真歩 【講師・演習支援者】 精神看護専門看護師　2名
25．がん看護 ＊ がん看護のアップデート 5日間　オンライン ① 8月7日（月） ② 9月27日（水） ③10月5日（木） ④11月1日（水） ⑤12月8日（金） 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】	【研修のねらい】 がんを患っている人やその家族に対して専門性の高い看護を提供するための基本的知識・技術・態度を習得する。 山梨県内の臨床現場で活躍する専門看護師や認定看護師から、がんの治療期から終末期のケアに必要な知識について学びます。日進月歩のがん医療やケアについて学びを深めましょう。 ※事例検討会はありません	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・山梨県のがん対策 ・がん看護の基礎知識、患者の権利と意思決定支援、看護倫理 2日目 ・がん患者の心理過程、がん医療におけるコミュニケーション ・Bad Newsの伝え方、小演習 ・がん薬物療法に関する基礎知識、副作用とその対策 ・外来がん薬物療法の実際と看護師の役割 3日目 ・がんサバイバーシップ ・家族ケア 4日目 ・疼痛のメカニズム ・全人的苦痛のアセスメントとケア ・症状を緩和するための看護師の役割 5日目 ・症状マネジメント （嘔気・嘔吐、倦怠感、せん妄、不穏、不眠、呼吸困難） ・がん患者・家族への在宅に向けた退院調整 ・がん在宅療養者や家族への訪問看護、事例紹介	【講師】 山梨県福祉保健部健康増進課 がん対策推進担当 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 教授　前澤　美代子 富士吉田市立病院　小池　賀津江 市立甲府病院　嶋田　やよい 上記3名、がん看護専門看護師 市立甲府病院　志村　美和 上記、がん化学療法看護認定看護師 甲府共立病院　高橋　知子 山梨県立中央病院　宮久保　朱実 上記2名、がん性疼痛看護認定看護師 山梨県立中央病院　中込　智重子 訪問看護ステーションやすらぎ 藤原　恵 貢川訪問看護ステーション 望月　和子 上記3名、緩和ケア認定看護師
26．摂食嚥下障害看護 摂食嚥下障害をもつ人への看護 1日間 9月4日（月） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 摂食嚥下のしくみとその障害をもつ人を理解し、経口摂取を促進するための看護について学ぶ。 老年人口も増加し摂食嚥下に問題を持つ患者や利用者も多くなっています。この研修では、人間にとっての食べる意義や摂食嚥下のメカニズムから嚥下評価、訓練の在り方、口腔ケア、他職種間連携まで、摂食嚥下に関する幅広い知識を学習します。摂食嚥下に関して講師の様々な工夫や体験も参考になる研修です。高齢者介護施設等に勤務する看護職にも受講いただきたい研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・口から食べることとは ・摂食嚥下機能評価 ・口腔ケア ・間接訓練（基礎訓練）、直接訓練（摂食訓練） ・リスク管理 ・こんな時はどうする？ ・事例提供と意見交換	【講師】 常葉大学健康科学部看護学科 老年看護学 講師　小澤　公人 【講師・演習支援者】 摂食嚥下障害看護認定看護師　2名

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
27．せん妄ケア ＊ 現場に活かせるせん妄予防 ～発症予防・重症化予防の ポイントを学ぶ～ 2日間　オンライン ①8月28日（月） ②9月11日（月） 【ラダー　Ⅱ】	【研修のねらい】 せん妄予防に関する知識・技術・態度を習得し、せん妄を予防し、重症化・長期化させないための対応について学ぶ。 令和2年度診療報酬改定にてせん妄ハイリスク患者ケア加算が創設され、せん妄リスク因子の有無を判断し、薬物を使用せずに早期からせん妄を予防するための対応が評価されています。せん妄について正しく理解し、患者や利用者が安全・安楽な生活を送るためのケアや支援について学びます。	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・せん妄の基礎知識、原因、悪化促進因子 ・せん妄の評価、せん妄と薬物、せん妄の治療、予防と対策 ・せん妄ケアに関する現場の課題 2日目 ・アセスメントツール、スケールの活用方法について ・せん妄発症時のケアと効果的なせん妄予防対策	【講師】 公立阿伎留医療センター 緩和治療科 部長 精神腫瘍医　小林　薫 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 講師 老人看護専門看護師　橋本　晶子
28．糖尿病看護 糖尿病看護の基本と行動変容を促す療養支援のコツ 2日間 ①10月23日（月） ②11月11日（土） 【ラダー　Ⅰ～Ⅲ】	【研修のねらい】 糖尿病看護の基本的知識を学び、糖尿病療養者を理解するとともに、療養支援において具体的かつ実践的な支援方法を学ぶ。 糖尿病看護について再学習したい方、初学者からベテランまでを対象とした研修です。糖尿病療養者への看護に対する苦手意識がある方は特に受講をお勧めします。2日目はDVD視聴や咀嚼体験、症例検討等、実践的に学びます。	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・糖尿病とは、糖尿病合併症、治療、関連した検査 ・糖尿病患者さんとの接し方、介入方法 2日目 ・「くせ」と「ずれ」、糖尿病患者の食事療法体験 ・マインドフルネス、コーチングの技法を用いたアプローチ ・糖尿病療養支援の仕方、症例検討	【講師】 加納岩総合病院 糖尿病看護認定看護師 渡邉　裕介 いけだ糖尿病・甲状腺クリニック 院長　池田　眞人
29．脳血管（急性期・回復期）＊ 脳血管障害をもつ人の生活再構築支援 ～急性期から回復期・生活期まで～ 5日間　オンライン ① 7月 7 日（金） ② 8月29日（火） ③ 9月 3 日（日） ④10月20日（金） ⑤11月 8 日（水） 【ラダー　Ⅱ～Ⅲ】	【研修のねらい】 脳血管障害をもつ人の生活再構築支援に必要な基本的知識・技術・態度を習得し、脳卒中リハビリテーション看護を実践する能力の向上を図る。 脳血管障害をともに乗り越え、障害を抱えつつ生活する人々に寄り添うために私たちにできることは何か？リハビリテーション専門職（PT・OT・ST）の役割や他職種との連携・協働について、脳血管障害看護の全ての病期を統合させた継ぎ目のない看護を提供するための基本的知識・技術・態度について、およそ7～11月の期間をかけてじっくり学びます。	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・脳卒中概論（分類・診断等）、脳卒中の初期治療 ・治療ガイドライン、脳血管障害の急性期治療の実際　等 2日目 ・経過別に見た脳卒中看護、脳卒中看護における倫理的課題　等 3日目 ・高次脳機能障害の概略、易怒性事例や問題行動への工夫対応 ・環境調整、就労支援、小児における事例、支援者の配慮　等 4日目 ・リハビリテーション医療の現状、リハ専門職の役割 ・看護とセラピストの連携協働によるADLアプローチ 5日目 ・摂食嚥下障害への対応、失語症の理解と対応 ・在宅療養利用者への支援の実際 ・介護保険制度の利用、各種サービスの活用　等	【講師】 山梨大学医学部脳神経外科 講師　吉岡　秀幸 山梨県立大学看護学部実践基盤看護学 講師　新藤　裕治 東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 診療部長　渡邉　修 山梨大学医学部附属病院 理学療法士　八木野　義孝 山梨リハビリテーション病院 作業療法士　佐尾　健太郎 湯村温泉病院 言語聴覚士　赤池　三紀子 看護小規模多機能居宅介護 まいほーむいけだ 在宅看護専門看護師　河西　由貴

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
30．透析看護 ひとごとじゃない！ 慢性腎臓病（CKD） ～予防から維持透析まで～ 1日間 6月30日（金） 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修のねらい】 慢性腎臓疾患や透析医療をめぐる今日的問題や透析看護の基本的知識を理解し、透析医療に携わる看護職の役割について考える。 慢性腎臓病に関心のある方が対象です。腎代替療法を受ける患者の不安や心理、看護師の関わり、透析医療に関して日頃抱いている悩みやジレンマを解決する糸口を見出せるかもしれません。クリニック等に勤務する看護師、CKD予防に携わっている行政保健師の方にもお勧めします。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・腎臓の構造と働き、血液透析の仕組み ・慢性腎臓病診療（保存期から透析期まで） ・腎代替療法選択とその実際 ・山梨県慢性腎臓病予防対策事業 ・新型コロナウイルス感染症と透析医療　・透析患者の特徴 ・CKD保存期の看護　・透析療法を受ける患者の看護	【講師】 福島県立医科大学甲状腺内分泌学講座 主任教授　古屋　文彦 山梨県立中央病院　清水　美樹 笛吹中央病院　来城　順子 上記2名、透析看護認定看護師
31．褥瘡ケア 褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～ 【ラダー　Ⅰ～Ⅱ】	【研修日程】【研修のねらい】【主な内容】【講師・演習支援者】等は、分類１の 14 ページ参照	

分類３　看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
32．看護管理 組織の課題と問題解決思考 1.5日間　オンライン ①6月１日（木） 　9：30 ～ 12：30 ②6月20日（火） 　9：30 ～ 16：00 【受講対象】 開講年度のファーストレベル受講予定者、経験年数10年目以上で、分析手法を用いた組織の現状分析に関して興味・関心のある看護職	【研修のねらい】 問題を整理し、あるべき姿を目指して現場を動かすために必要な、論理的な問題解決思考とスキルについて学ぶ。 普段、職場や組織で感じている問題はありますか？この研修では、問題を整理して“あるべき姿を目指し、現場を動かす”論理的な解決思考とスキルについて学びます。ファーストレベルの受講者は、組織分析の考え方を活用してレポートをまとめることが求められますので、受講をお勧めします。また、管理者だけでなく、経験を積んだ看護職や10年目以上の看護師で問題解決の思考や方法を理解したい方の受講もお待ちしています。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・組織の理解 ・組織分析の意義 ・組織分析の方法と進め方 ・BSC（バランスト・スコアカード） ・SWOTの概要 ・組織分析方法の実際	【講師】 山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床医学系 山梨大学医学部附属病院 経営管理部 教授　小林　美亜
33．中間管理者 ＊ 【新任副看護師長（主任）対象】 看護管理の第一歩 4日間 ①８月３日（木） ②９月13日（水） ③10月17日（火） ④11月21日（火） 【受講対象】 新任副看護師長（主任）、今後看護管理者としての役割を担う者	【研修のねらい】 組織における副看護師長（主任）の立場・役割が理解でき、役割遂行にあたっての課題とその解決策を導き出し、課題解決に向けて現場で実践する。 副看護師長や主任に着任した方を対象とした研修です。看護管理とは何か、看護管理者としての心構えや役割について学びます。起こりうる事象を解決するための様々な問題解決技法について学び、自部署を分析してみましょう。	
	【主な内容（講義・演習）】 １日目 ・看護管理とは、看護管理に必要なマネジメント ・看護サービス、目標管理、業務改善 ・副看護師長、主任としての役割　・体験報告　等 ２日目 ・看護管理者として課題を解決するために ・問題解決（現状分析と課題の明確化） ・SWOT分析、クロス分析、二次元展開　等 ・看護管理者の倫理観 ３日目 ・分析手法を用いた自部署の課題解決策の導出 ４日目 ・成果報告会（取り組み報告）	【講師・演習支援者】 市立甲府病院 看護部長　小石川　好美 白根徳洲会病院 看護部長　佐藤　あけみ 【演習支援者】 認定看護管理者　3名
34．看護補助者活用推進 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修　改訂版2022 **※診療報酬加算対象研修**	【研修日程】【研修のねらい】【主な内容】【講師・演習支援者】等は、分類１の 13 ページ参照	

分類４　専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
35．教育【実践編】＊ 【教育委員・研修担当者対象】 施設内研修企画に必要な基礎知識 ～研修企画のプロセスを学ぼう～ 2日間　オンライン ①7月24日（月） ②8月22日（火）	【研修のねらい】 効果的な施設内教育を行うための研修企画のプロセスを学び、研修を企画できる。 成人学習者の特徴や継続教育の必要性など基本的要素を学んだ後、自部署や自施設の課題をもとに、研修の計画案の作成から評価案の作成までの一連の流れを、講師の助言やペアでの意見交換を通して丁寧に学びます。研修を企画することの奥深さや自分の力で必要な研修を考える楽しさを実感できます。	
	【主な内容（講義・演習）】 １日目 ・教育の必要性 ・成人学習者の特徴 ・現任教育の現状と課題 ・研修企画・評価の基本的要素 ・受講者のニーズの把握 ・研修目的・目標・内容の設定 ・教育形態の選定、講師の選定 ２日目 ・ 研修企画（案）と研修評価（案）の作成と修正	【講師】 日本赤十字看護大学看護学部 看護管理学 教授　安部　陽子

分類５　資格認定教育

36．セカンドレベル

開催期間	教育目的・到達目標・教科目	受講要件	受講形態	定員・受講料	申込期間
6/ 1（木） ～ 8/31（木） 32日間	【教育目的】 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。 【到達目標】 1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理課程を展開できる。 2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。 【教科目】 ・ヘルスケアシステム論Ⅱ　・組織管理論Ⅱ ・人材管理Ⅱ　・資源管理Ⅱ ・質管理Ⅱ　・統合演習Ⅱ ・特別講義　（全183時間）	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に１年以上就いている者。	対面・ オンライン （zoom） 併用研修	【定員】 30名 【受講料】 会員 180,000円 非会員 270,000円	3/20（月） ～ 4/14（金）

37．ファーストレベル

開催期間	教育目的・到達目標・教科目	受講要件	受講形態	定員・受講料	申込期間
10/2（月） ～ 11/30（木） 20日間	【教育目的】 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。 【到達目標】 1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2. 組織的看護サービスの提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。 【教科目】 ・ヘルスケアシステム論Ⅰ　・組織管理論Ⅰ ・人材管理Ⅰ　・資源管理Ⅰ ・質管理Ⅰ　・統合演習Ⅰ ・特別講義　（全117時間）	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後実務経験が通算5年以上ある者。 3. 管理的業務に関心がある者	対面・ オンライン （zoom） 併用研修	【定員】 50名 【受講料】 会員 91,000円 非会員 136,500円	7/3（月） ～ 7/21（金）

☆セカンドレベル、ファーストレベルの詳細は、山梨県看護協会ホームページをご覧ください。

分類6　人材育成

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
38．アンガーマネジメント 看護職のためのアンガーマネジメント ～感情コントロールを身につけ、怒りとうまく付き合うために～ 1日間 12月12日（火）	【研修のねらい】 アンガーマネジメントを学び、自分自身の怒りの感情やストレスを上手に受け止めながら働くための知識や考え方を学ぶ。 「怒り」とは何か、感情のコントロール方法、看護の現場で怒りやストレスを上手く受けとめながら働く方法など、アンガーマネジメントについて広く学びます。日々の看護の場面以外でも、プライベートでの自身の怒りとどう向き合うかについても考えられる研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・怒りとは、生じるメカニズム ・怒ることのメリット、デメリット ・アンガーマネジメントとは ・自分のタイプ、自分のトリガーを知る ・上手な叱り方、悪い叱り方　　等	【講師】 訪問看護ステーション緑風 管理者 精神科認定看護師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントファシリテーター　　渡邊　恭佑
39．看護リフレクション NEW 看護リフレクション ～看護の質を高める看護実践・体験の語り～ 1日間 10月14日（土） 9：30 ～ 16：30 【受講対象】 経験3年目以上10年目ごろまでの中堅看護職（看護管理者のぞく）	【研修のねらい】 看護リフレクションの体験を通し、日々の看護体験や実践を意識的に振り返り、看護の価値や看護観を育む意義、取り組み方を理解する。 リフレクションは、「熟考すること、内省すること」の意味があり、自己の体験を振り返り、自己の考えや行動を深く省みる事です。リフレクションは、自己理解の促進、習慣的行為からの脱却、人間的成熟、状況の概念化の力の育成等につながるといわれています。看護職は、日々忙しい業務の中で、「あれ？」という事が流れていってしまっている現状もあります。この研修では、自分の体験したことを客観的に振り返り、意味や、あり方を見つめ直していく意義や考え方を学びます。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・リフレクションとは、看護リフレクションとはなにか ・体験から学ぶ ・看護リフレクションの流れ ・看護を語る、看護の語りを聴く体験と振り返り ・看護リフレクションの実際　　等	【講師】 日本赤十字北海道看護大学看護学部 成人看護学　教授 東　めぐみ
40．ティーチング・コーチング ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導 ～自立したスタッフを育成するために～ 1日間 2024年3月3日（日）	【研修のねらい】 スタッフ指導におけるティーチング・コーチングの基本を学び、体験を通して意識と行動を変容できる関わり方を習得する。 褒めることや叱ることは、本来のティーチング、コーチングではありません。褒められなくても、叱られなくても、たとえこちらの助言を無視されようとも、スタッフの自立度を見極め、進むべき道を目指す、決してあきらめない…。新人看護職と関わるプリセプター等、スタッフ教育に携わる経験年数3年目以上の看護職を対象とした研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・チームとは ・安全で良質な患者中心のチーム医療 ・質の高いサービスを提供するマネジメントと組織のあり方 ・自立、成長を支援するためのティーチング・コーチング ・効果的な指示、効果的な助言	【講師】 東京女子医科大学 統合教育学修センター 准教授　　諏訪　茂樹
41．ファシリテーション 看護の現場で活かすファシリテーターの役割 ～よりよいカンファレンス・会議に向けて～ 1.5日間 ①8月29日（火） ②8月30日（水） 　②のみ9：30 ～ 12：00 【受講対象】 経験年数5年目以上の看護職	【研修のねらい】 集団による問題解決能力プロセスを学び、カンファレンスにおけるファシリテーターの役割を見出す。 看護の職場では、様々なカンファレンスが実施されることが多いです。その中でファシリテーションは、参加者の意見を十分に引き出し、有効なカンファレンスとなるために必要なスキルです。この研修では、集団学習の効果がより高まるようなファシリテーターの役割や考え方を学びます。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・ファシリテーション、 ・ファシリテーターの基本のスキル （場のデザイン、対人関係、構造化、合意形成） ・よりよいカンファレンスのために （カンファレンスの現状、問題の確認、望ましくないカンファレンスになる要因、現状の問題に対する解決策）	【講師】 埼玉県立大学保健医療福祉学部 看護学科　教授 國澤　尚子

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
42．全看護職対象 看護職のメンタルヘルス ～自分のこころをケアしよう～ 1日間 9月7日（木）	【研修のねらい】 自分のこころの状態を知り、同じストレスや孤立・孤独を感じている人と思いを共有し、自分なりのメンタルヘルスを考え、少しでもこころの重りを軽くしていきませんか？ 看護職は、人々のいのちや健康、生活に関わる仕事です。そのため、たくさんのやりがいがある反面、様々なストレスも多いと言われています。看護職は、コロナ発生以前にも増して、多くの業務や対応を求められ、心身ともに疲弊している状態です。したがって、今こそメンタルヘルスについて学び、「もうダメ・・・」とこころが折れてしまう前に、自分のこころの状態を少し見つめてみませんか所属・経験年数・職種を問わず、すべての看護職を対象とした研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・コロナ禍における看護職の現状 ・ストレスとは、ストレス要因、ストレス反応 ・自分のこころの状態 ・ストレス対処法 ・語り合う	【講師・演習支援者】 山梨県立大学看護学部　地域・精神健康支援看護学　准教授 野澤　由美 山梨厚生病院　精神看護専門看護師 志村　聡子 日下部記念病院　精神看護専門看護師 春日　飛鳥
43．新人看護職対象 NEW 身に付けよう！専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力 各0.5日間 ※①②は同内容 ①5月10日（水） 9：30～12：30 ②5月10日（水） 13：30～16：30 【受講対象】 経験年数1年未満の看護職	【研修のねらい】 チームの一員として育ち、活躍するために社会人基礎力を培う意義を理解し、実践していく足がかりをつかむ。 どのような職業においても仕事をしていく上で共通な必要となる能力は、社会人基礎力ともいわれています。現在の医療や看護は、チーム医療、対象者の意思の尊重、専門性を活かした安全・安心、質の良い医療の提供が求められています。看護職としての専門力の活かし方も社会人基礎力によって培われるともいわれています。新人看護職が社会人基礎力を養い、チームの中で成長していけるためにこの研修を企画しました。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・社会人基礎力とは ・看護職として活躍するために必要は社会人基礎力 ・今の自分の社会人基礎力を振り返る ・社会人基礎力を康ないために心掛けること	【講師】 聖マリアンナ医科大学 看護師対策部門担当執行役員 ナースサポートセンター長 高橋　恵
44．新人看護職対象 看護職として活き活きと働くために 各0.5日間 ※①②は同内容 ①7月4日（火） 13：00～16：00 ②7月6日（木） 13：00～16：00 【受講対象】 経験年数1年未満の看護職	【研修のねらい】 看護専門職として生き生きと働くためのあり方を学び、他施設の新人看護職と交流することで、仲間意識を高める。 今年度の新入職者も、新型コロナウイルス感染症による影響で、学生の時期に必要十分な教育環境で学ぶことができなかった方も多いと思います。社会人としての厳しい現実と向き合っている方も多いことでしょう。今の自分の状態を少しでも振りかえり、日々感じている様々な思いや悩みを同期と分かち合うことで「自分だけが辛いのではなく、みんなも同じ。明日からまた頑張ろう！」と前向きな気持ちになれる研修です。 ☆山梨県看護協会活動の紹介も山梨県看護協会会長からさせていただきます。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・エクササイズ「自分マップ」 ・エクササイズ「印象交換」 ・振り返り	【講師】 山梨県立大学看護学部 名誉教授　文珠　紀久野
45．中堅看護師対象 キャリア形成の“これから”を考える 0.5日間 6月29日（木） 13：00～16：00 【受講対象】 経験年数5～10年目の看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）	【研修のねらい】 中堅看護師としての自覚を持ち、今後のキャリアについて考えることができる。 勤務している職場において中堅看護師を対象とした研修会に参加されていると思いますが、この研修会では、自施設以外で働く中堅看護師と、同じ経験知を有する看護職と日々の仕事のことや今後のキャリア形成について話し、交流してみませんか。	
	【主な内容（講義・演習）】 ・中堅看護師の役割 ・現場で求められることと抱えるジレンマ ・仕事とプライベートの両立 ・マインドセットという考え方 ・あるべき姿からありたい姿へ	【講師】 山梨県民主医療機関連合会 事務局長 認定看護管理者　村松　裕子

（＊は山梨県委託事業）

<table>
<tr><th>研修名・開催日</th><th colspan="2">研修のねらい・主な内容</th><th>講師・演習支援者（敬称略）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">46．准看護師対象 ＊

看護過程の基本を学ぶ

2日間
①9月21日（木）
　オンライン予定
②9月28日（木）
　対面予定

【受講対象】
准看護師</td><td colspan="2">【研修のねらい】
看護過程の意義、考え方を基礎から学まなび、より良い看護実践につなげる知識・技術を身につける。

　准看護師が看護師と協働して看護を行うためには、看護過程の思考の概要を理解しておくことがチーム医療を進める上で大切です。現場の准看護師からは、情報やアセスメントが適切に書けないという声が多々聞かれています。困っていることや苦手とすることをじっくり学び、今実際に行っていることをより良い看護実践にしてける学びができる研修として企画しています。</td></tr>
<tr><td>【主な内容（講義・演習）】
・看護過程意義
・看護過程のプロセス
・事例の中から情報の整理の考え方
・関連図の作成と全体像把握、アセスメントの考え方
・看護問題の抽出、統合、問題の明確化
・看護計画立案の考え方
・看護記録に関すること</td><td>【講師】
帝京山梨看護専門学校
校長　　棚本　知砂美</td></tr>
<tr><td rowspan="2">47．保健師対象 ＊

災害時における行政保健師の役割と行動

2日間
①8月26日（土）
②9月15日（金）

【受講対象】
災害対応に関心のある行政保健師、リーダー的立場の保健師</td><td colspan="2">【研修のねらい】
自然災害における行政保健師の役割を理解し、災害に対応できる能力を高める。

　各地で毎年のように自然災害が発生する中で、災害時における保健師の役割を修得することは必須ですが、山梨県は幸いにも大きな災害に遭遇していません。大規模災害時に保健師が全員参集出来るとは限らず、経験年数が浅い者でも活動を行っていかなければならないことを考えると、多くの保健師に受講していただきたい研修です。演習では、想定された災害の状況に対し、具体的にシュミレーションしながら保健師としての判断や行動につい学び、実践力の向上を目指します。</td></tr>
<tr><td>【主な内容（講義・演習）】
1日目
・災害時（地震ないし水害）における行政保健師の役割
・避難所運営シミュレーション
・避難所のアセスメント
・フェイズ0～2の保健活動
・リフレクション
2日目
・受援に関わる行政保健師の役割
・災害時の倫理的課題と意思決定
・県外保健師への情報提供内容
・派遣、応援支援に関する判断、課題
・リフレクション</td><td>【講師】
自治医科大学看護学部 看護学部長
地域看護学　教授
春山　早苗

【演習支援者】
自治医科大学看護学部　地域看護学
准教授　　島田　裕子</td></tr>
<tr><td>48．看護管理

組織の課題と問題解決思考</td><td colspan="3">【研修日程】【研修対象】【研修のねらい】【主な内容（講義・演習）】【講師】等は、分類3の22ページ参照</td></tr>
</table>

分類7　看護研究

（＊は山梨県委託事業）

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者（敬称略）
49．看護研究【基礎編】 日頃の疑問を研究につなげる 2日間 ①9月12日(火) ②10月3日(火)	【研修のねらい】 看護実践の場における疑問を研究テーマにつなげるために必要なことを理解でき、文献を利用しながら、自己の疑問と研究課題を関連付ける。 初めて研究する際に最初に戸惑う、テーマをどうするか、何をするか、といった悩みを解決する糸口となるよう、看護研究に取り組む基本を学ぶ研修として企画しました。臨地の疑問から研究課題を絞る、問題明確化のプロセスを講義やグループ演習で体験しながら学び、文献検索や文献抄読も行うことで、興味を持って研究に取り組むきっかけとすることを目的としているため、来年度以降に看護研究に取り組む方に適した研修です。	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・研究とは？ ・研究サンプル、テーマの選び方 ・研究課題の明確化 ・文献を読む（クリティーク） ・医学中央雑誌を活用した文献検索 2日目 ・関心テーマに沿って集めた「研究」を 読む ・明らかになっていること、いないことの見極め ・概念枠組みの検討 ・研究倫理と利益相反	【講師・演習支援者】 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 准教授　井川　由貴 【演習支援者】 山梨県内看護系大学ないし看護専門学校 教員　3名
50．看護研究 **【基礎から実践への架け橋編】＊** 研究過程に必要な技術を身に付ける 6日間 ①6月8日(木) ②7月20日(木) ③8月24日(木) ④9月14日(木) ⑤11月16日(木) ⑥2024年1月11日(木)	【研修のねらい】 看護研究の一連の流れや看護研究に必要な手法を理解し、これから看護研究を実践するための知識や技術を具体的に身に付ける。 看護研究には様々な過程があります。この研修では6日間にわたり、模擬研究を用いながら演習を含めて看護研究について体系的に学びます。看護系大学教員の先生から看護研究のためのコツやヒントを聴くプログラムも予定しています。	
	【主な内容（講義・演習）】 1日目 ・看護研究の概要をつかむ ・医学中央雑誌を活用した文献検索 2日目 ・文献紹介 ・研究計画案の検討 ・研究過程の実際① 3日目 ・調査の準備 ・倫理的配慮の検討 ・研究過程の実際② 4日目 ・統計の基本 ・データの整理および解釈 5日目 ・研究のまとめ ・発表準備 （追加分析、図表作成、スライド作成、発表原稿作成　等） 6日目 ・模擬研究発表会 ・研究実践に向けた今後の抱負	【講師・演習支援者】 元 山梨大学大学院総合研究部 基礎・臨床看護学講座基礎看護学領域 准教授　内田　一美 【演習支援者】 山梨県内看護系大学ないし看護専門学校 教員　5名

ナースセンター研修

〔問い合わせ先〕ナースセンター部
TEL 055-226-0110（直通）

山梨県ナースセンターは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、看護職確保・定着のための研修を行っています。

研修事業の大枠　1．新人看護職の離職防止と定着を目的とした、新人看護職指導担当者のための研修
　　2．未就業看護職の再就業支援のための研修

研修名	開催日時	ねらい	対象者・定員
新人看護職指導担当者のための研修	9/5(火)・9/6(水)・10/4(水) 10：00 ～ 16：00	新人看護職員の離職防止において、新人看護職員の指導にあたる看護職員の質の向上を図り、きめ細やかな指導を行うことが出来るようにすると共に、同じ立場の看護職員が横のネットワークを構築する機会とする。	・卒後3年～10年の看護職（保健師、助産師、看護師） ・現在、新卒及び中途採用者の指導に携わっている者 ・3日間出席できる者 ・定員：70名　※1施設3名まで
輝け！プラチナナース「今から考えるセカンドキャリア」講座	2/2(金) 13：30 ～ 16：00	看護職としてこれまでの知識や経験を活かした、プラチナナースとしてのセカンドキャリアについて考える機会とする。	・40歳以上の看護職で、現在就業している者、 あるいは就業していない者 ・講座内容に興味のある看護職 ・定員：50名
潜在看護職員復職支援研修	随　時 (4月～2024年3月)	病院等への就業希望がある看護職を対象に、最新の看護業務の習得と職場復帰を図るために、希望する日時・病院・訪問看護ステーションにおいて実務研修を受け再就業を促進する。 ※再就業を希望する看護職が、希望する施設・期間（3～5日）・内容で研修を受けられるようナースセンターが調整をする。	・就業を希望する看護職で、現在看護業務についていない者

トータル・サポート・マネジャー養成研修

〔問い合わせ先〕山梨県訪問看護支援センター
TEL 055-225-3035（直通）FAX 055-222-5988

山梨県看護協会では、山梨県から委託を受け、平成29年度から医療的ケアがより必要な在宅療養者への支援や退院可能な入院患者の在宅移行支援等を行う中で、在宅医療においてチーム医療の力を最大限に発揮させ、医療と介護の連携を推進することができる訪問看護師の養成に向けて次の研修を行っています。

事業名	実施期間	ねらい・内容	対象者
トータル・サポート・マネジャー（TSM）養成研修	8月～12月（予定）	在宅医療推進に向け、チーム医療の力を最大限に発揮させるため、多職種連携の医療分野の調整役となる「トータル・サポート・マネジャー」を養成し、効果的・効率的な在宅医療の提供を図る。 ※受講料は無料です。	訪問看護ステーション及び訪問看護を実施している診療所等の看護師（経験5年以上、その他要件有り）一部公開講座有り

訪問看護推進研修・交流会

〔問い合わせ先〕山梨県訪問看護支援センター
TEL 055-225-3035（直通）

山梨県訪問看護支援センターは、平成27年度山梨県から訪問看護推進拠点事業の委託を受け、訪問看護師の養成・育成、確保・定着推進を目的に下記の研修を行っています。

※2023年4月1日現在の研修予定のため、研修内容・日程等変更になる可能性があります。変更の場合は、山梨県看護協会ホームページにてお知らせします。

研修名	実施日時・期間	ねらい・目的・内容	対象・定員
新人訪問看護師教育研修	4月～2024年3月	訪問看護師未経験の新人訪問看護師（新卒・潜在・転職）が訪問看護に必要な専門的知識・技術を習得する。 研修内容：講義、病院・介護保険施設研修等	対象：訪問看護未経験で採用1～3年目の訪問看護職
訪問看護師養成研修会	6月～12月 9：30～16：30	訪問看護に必要な知識と技術を習得し、在宅療養のニーズに対応するため、質の高い訪問看護に従事する看護職を養成する。 研修内容： ・eラーニングによる研修 ・集合研修 ・地域包括支援センター・訪問看護ステーション実習　等	対象： ①訪問看護に従事している看護職 ②訪問看護に興味、関心がある看護職 ①～②いずれかの要件に該当する者 定員：25名程度
訪問看護継続研修	7月 1日間 9：30～16：00	在宅における摂食嚥下障害のある人・経腸栄養が必要な人が生活するために必要な栄養が摂取できるための看護を学ぶ。 研修内容： ・摂食嚥下障害のある人への看護 ・経腸栄養が必要な人の安全な管理（演習を含む）　等	対象：訪問看護に従事している看護職 定員：20名
訪問看護管理者研修	7月 1日間	在宅ケアの充実に向けて、訪問看護事業所の管理・運営能力を高め、訪問看護事業所全体の向上を図る。 研修内容： ・訪問看護における業務継続計画（BCP）に関する知識 ・訪問看護における業務継続計画（BCP）の立案（演習）	対象：訪問看護事業所の管理者（所長）及び準ずる訪問看護職 定員：20名
訪問看護ステーション・医療機関に勤務する看護師の相互研修	①7月 9：30～15：30 ②③④ 8月～10月中の3日間　※実習 ⑤11月 9：30～15：30 計5日間	相互の専門性を理解し、入退院支援における看護の連携や協力のあり方について学び、訪問看護の推進を図る。 研修内容： ・訪問看護に関する基礎知識 ・在宅ケア移行支援とは ・医療機関に勤務する看護職・訪問看護師の役割 ・病院または訪問看護ステーション実習　等	対象：訪問看護事業所勤務の看護職および医療機関等勤務の看護職 定員：各10名
訪問看護のしゃべり場（交流会）	1回目　8月 2回目12月 両日とも 10：00～12：00	潜在看護師・訪問看護に関心のある看護職および看護学生 が、訪問看護に関して聞きたい事・知りたい事を忌憚なく聞くことで、訪問看護への関心を深める第一歩となる機会とする。	対象：看護職および看護学生 定員：15名程度
新人訪問看護師教育研修（基礎研修）	1回目： ①9月 ②10月 2回目： ①2024年1月 ②2024年2月 すべて 9：30～15：30 ※1､2回目同じ内容	新人訪問看護師が訪問看護に必要な基礎知識を学ぶことで、訪問看護を継続する。 研修内容： ・訪問看護に関連する制度 ・訪問看護の役割・機能・特性 ・訪問看護の対象の特性等 ・訪問看護に必要なスキル ※看護技術演習ではありません	対象：訪問看護未経験で採用1～３年目の訪問看護職 定員：10名
新人訪問看護師指導者研修	①10月 ②2024年２月 両日とも 13：30～16：30 計2日間	新人訪問看護師指導者の役割を理解し、指導、評価等を行うための知識・技術・態度を習得する。 研修内容： ・新人訪問看護師指導者の役割 ・新人訪問看護師指導者に必要なスキル ・新人訪問看護師育成の実際・展開方法 ・新人訪問看護師指導の実施評価（演習）	対象：新人訪問看護職の育成に携わっている者または今後、新人訪問看護職育成の役割を担う者

研修名	実施日時・期間	ねらい・目的・内容	対象・定員
訪問看護ステーションに勤務する看護師の交流実務研修	①11月 9：00 ～ 12：30 ②③ 11月中の2日間 ※実習 ④2024年1月 9：00 ～ 11：30 計4日間	訪問看護管理者として必要な知識と技術を学び、自己の管理者としての役割・課題および課題解決策を見出す。 研修内容： ・管理者に求められる役割・能力 ・自己の訪問看護管理者としての役割 ・課題、課題解決策（演習） ・訪問看護ステーションでの管理実習	対象：訪問看護事業所または病院の訪問看護部門の管理者、および今後管理者の役割を担う者 定員：10名
新人訪問看護師教育研修 （看護技術研修）	2024年2月 1 日間 9：30 ～ 16：30	訪問看護のフィジカルアセスメントに必要な基本的知識と技術を学ぶ。 研修内容： ・訪問看護のフィジカルアセスメントに必要な基本的知識と技術	対象：訪問看護未経験で採用1～3年目の訪問看護職 定員：10名
新人訪問看護師教育研修 （フォローアップ研修）	2024年3月 9：30 ～ 12：30	訪問看護師としての現状を振り返ることにより、自己の課題抽出ができ、課題解決策を検討することで、訪問看護師としての成長の方向性を見出す。 研修内容： ・訪問看護師として成長するため、キャリアを積んでいくために今まで関わった中で心に残る療養者・家族について語る ・訪問看護師として成長するための課題を作成（演習）	対象：訪問看護未経験で採用1～3年目の訪問看護職 定員：20名
訪問看護師動機付け研修	2024年3月 2日間 ①9：30～16：00 ②9：00～16：00	訪問看護に興味を持ち訪問看護職として就業への第一歩を踏み出す動機付けとする。 研修内容： ・訪問看護の概要・訪問看護の対象など ・同行訪問	対象：訪問看護未経験の看護職、看護学生 定員：20名程度

医療安全管理者養成研修

〔問い合わせ先〕日本看護協会ホームページ
※ Web 申し込み　申込期間：2023年5月8日(月)10時～ 5月19日(金)12時

公益社団法人日本看護協会が主催する2023年度医療安全管理者養成研修が開催されます。最終日は集合研修で行います。
※詳細については日本看護協会ホームページの「医療安全管理者養成研修」をご参照ください

研修名・配信期間	集合研修	目的	対象者
2023 年度医療安全管理者養成研修 ＜医療安全対策加算対応＞ 【配信研修期間】 2023 年 7 月　3 日～ 2024 年 1 月 31 日 【オンデマンド講義】 35 時間	【開催日】 12 月 16 日（土） 9：30 ～ 15：30　5時間 （休憩1時間を含む） 【会場】山梨県看護協会	【目的】医療の質の向上と安全確保を目的とした、医療安全管理業務を遂行するための基本的な知識と実践能力を習得する	【以下の3要件をすべて満たす者】 1) 医療安全管理者または 1 年以内に医療安全管理者になる予定の者 2) 上司の推薦があること 3) 2023 年度に開催する研修プログラムを全時間受講可能なこと 上記要件のほか、看護師長に相当する職位以上にあることが望ましい

社会経済福祉委員会研修

〔問い合わせ先〕ナースセンター部
TEL 055-226-0110（直通）

山梨県看護協会社会経済福祉委員会では、ヘルシーワークプレイス－健康で安全な職場づくりを目指して－を普及させるための研修を今年度も開催します。人材確保や管理体制など、日々現場の管理職が感じている職場での困りごとを他の施設の管理職とともに情報を共有し、自施設の課題を明らかにできる研修です。この機会に参加し、自施設の取り組みに活かしてみませんか。

研修名	開催日時	ねらい	対象者・定員
安心して働き続けられる職場環境（ヘルシーワークプレイス）を作るためには ―労働安全衛生ガイドラインを活用した職場環境調整について学びましょう―	① 7 / 5（水） ② 8 /21（月） ③11/14（火） ④12/13（水） 10：00 ～ 15：00 ※①～④同じ内容	労働安全衛生ガイドラインの内容を理解し、安心して働き続けられる職場環境づくりについての課題を明らかにする。	①②県内の病院看護管理者（看護部長、副看護部長またはそれに準ずる職位の方） 定員：30名 ③④県内の病院看護師長またはそれに準ずる職位の方 定員：50名

【職能研修】〔問い合わせ先〕総務部　TEL 055-226-4288（直通）　FAX 055-222-5988

開催日	研　修　名	受講料
【保健師職能研修】 ① 10 月～ 12 月頃	①保健師職能研修会 行動変容を促すためのスキルアップを目的に調整中	会　員：無料 非会員：500円
【助産師職能研修】 ① 7 月 ② 11 月頃 ③ 2024 年 3 月頃	①助産師職能交流集会「助産師による～誕生学・いのちの授業～」（仮） 講師：都留市立病院　海野聖子看護師長 ②新人助産師研修 ③新生児蘇生法講習会 ※CLoCMiP®「助産実践能力習熟度段階（クリニカルラダー）レベルⅢ」認証申請のための必須研修	①② 会　員：無料 非会員：500円 ③ 一律3,000円
【看護師職能研修】 ①10月頃または2月頃1回 ②10月頃、2月頃の2回	【領域Ⅰ：病院領域】 ①病院領域職能研修会 【領域Ⅱ：介護・福祉施設、在宅領域合同】 ②介護・福祉施設、在宅領域職能研修会	会　員：無料 非会員：500円
【三職能合同研修】 未定	未定	会　員：無料 非会員：500円

※開催日時が決定次第、開催要項や申込書等を通知いたします。
　上記研修の詳細につきましては、山梨県看護協会ホームページでご確認ください。

【地区支部研修】〔問い合わせ先〕各地区支部　※受講料は会員無料、非会員 500 円です

開　催　日		研　修　名
【中北地区支部】	①未定 ②7月頃 ③9月頃 ④10月頃	①中北保健所管内看護管理者代表会議（対象：トップマネージャー） ②看護師のための社会人基礎力①（対象：新人支援者やリーダー的役割の人） ③看護師のための社会人基礎力②（看護管理者など） ④市民公開講座：講演会（対象：一般市民など）
【峡北地区支部】	①7月頃 ②9月頃 ③11月頃	①継続看護研修会「事例報告・事例検討会」 ②感染症発生時の地域連携を考える ③自然災害時の地域連携を考える
【峡南地区支部】	①10月予定 ②11月上旬頃予定 ③2024年2月予定	①トピックス研修：感染症対策に関する内容 ②市民公開講座：在宅での看取りについて ③看護研究発表会
【峡東地区支部】	①5月26日 ②10月頃 ③11月～12月頃 ④12月頃	①現場に活かす研修「感染に関すること」 ②リフレッシュ研修 ③市民公開講座 ④継続看護研修
【富士・東部地区支部】	①未定 ②未定 ③未定 ④9 ～ 11月頃	①看護のケア向上研修：災害看護に関する研修会 ②リフレッシュ研修：調整中 ③看護の連携継続研修：調整中 ④市民公開講座：口腔ケア推進事業

※開催日時が決定次第、開催要項や申込書等を通知いたします。
　上記研修の詳細につきましては、山梨県看護協会ホームページでご確認ください。

2023年度山梨看護学会のご案内

2023年度山梨看護学会を下記の通り開催します。山梨県看護協会ホームページのトップページにてお知らせいたします。情報は随時更新いたします。

【山梨看護学会の目的】

山梨看護学会（以下、本学会という）は、看護に関する研究活動を行い、山梨県の看護の質の向上に寄与すると共に、県民の健康な生活の実現に貢献することを目的としている。

Ⅰ．開催概要　※下記は2023年3月末現在の情報です

1．開　催　期　間：12月中　※詳細についてはホームページでご案内いたします
2．会　　場：公益社団法人山梨県看護協会 看護教育研修センター
3．テ　ー　マ：暮らしをつなぐ看護
4．研　究　発　表：口演（パワーポイント使用）
5．企画その他：検討中
6．問い合わせ先：〒400-0807 甲府市東光寺2−25−1　公益社団法人山梨県看護協会 教育部
TEL：055−236−5050　FAX：055−236−6060　E-mail：y-kyoiku@yna.or.jp

Ⅱ．演題募集のご案内

2023年度山梨看護学会の演題を募集いたします。

1．登録期間：令和5年5月1日(月)～6月1日(木)17：00まで
2．登録資格：演題発表者（筆頭研究者）及び看護職の共同研究者は山梨県看護協会会員に限る。
（但し、看護職以外で会員と共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。）
3．演題登録の要件：看護の向上と発展に寄与するものであり、未発表（施設内発表は除く）のものに限る。
4．選考方法：演題採択の可否は、査読基準に基づく査読を経て決定する。査読の結果、修正を求められた場合は、再考・修正の上、指定された期日までに再提出する。
5．演題登録に関する書類　※ホームページに掲載いたします
・演題募集要項　・演題申込書　・抄録原稿作成の手引き　・抄録原稿書式フォーム
・チェックリスト　・抄録選考基準　・利益相反に関する指針および申請書
・応募から発表までの流れ

Ⅲ．学会参加のご案内

詳細は9月以降にホームページに掲載いたします。

（様式１）

2023年度　研修申込書

＊施設で一括申し込みの場合は様式2と一緒に送ってください。
＊申込責任者には、申込みに関する連絡・問い合わせをすることがあります。

研修日	年　　月　　日　　※初日のみご記入ください		
研修名			
施設名			
施設電話番号	―　　―		
申込責任者		申込責任者連絡部署	
		申込責任者職位	
振込方法	□ **受講者の個人振込**　　□ **施設の一括振込** ＊ご希望の振込方法にチェック☑を入れてください		
受　講　申　込　者　氏　名			
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
備　考			

送付先：公益社団法人山梨県看護協会　教育部
E-mail　y-kyoiku@yna.or.jp
FAX　055-236-6060（直通）

（様式２）

2023年度　研修申込書

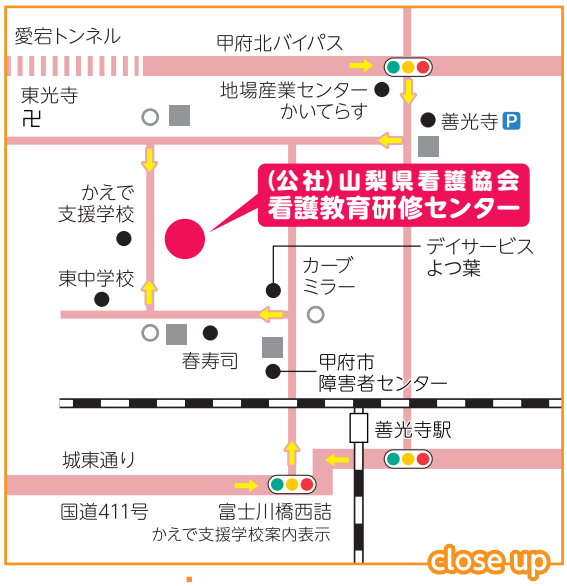
＊項目に沿って記入してください。該当する□にチェック☑を入れてください。
＊施設一括の場合は様式1と一緒に送ってください。

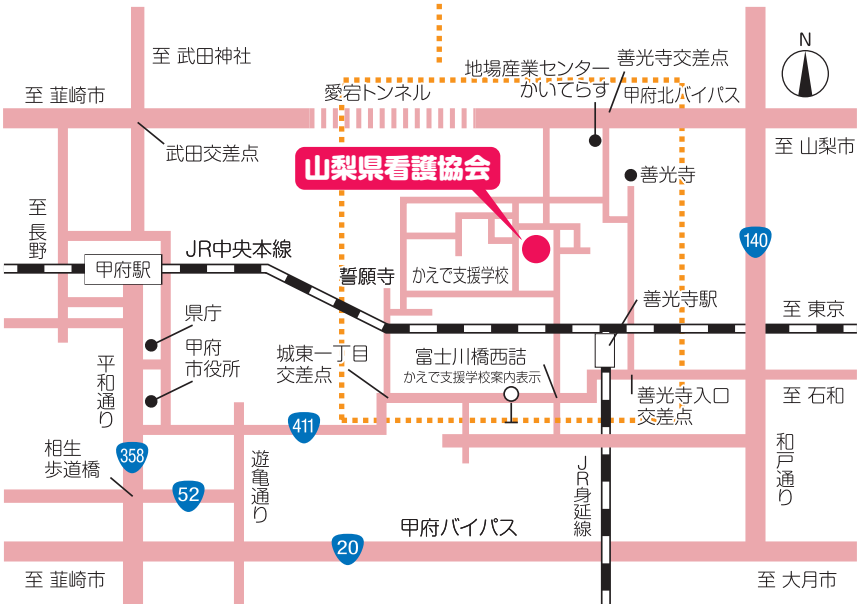
申込日　　年　　月　　日

研修日	年　　月　　日　※初日のみご記入ください				
研修名					
ふりがな		山梨県看護協会	□　会員　　□　非会員		
氏　　名		会員番号	※ 都道府県の会員番号を記入してください		
		職種	□保健師　□助産師　□看護師　□准看護師		
所属 施設名		職位	例）看護師長、主任、副主査など	看護実務 経験年数	年目
所属部署	※該当部署に〇をしてください 内科・外科・回復期リハビリ・一般・急性期療養・地域包括ケア・混合・精神科・救急 ICU・小児科・産科・外来・透析室・手術室・訪問看護ステーション・老人保健施設・福祉施設 その他（　　）	受講選択 理由 （複数回答可）	□テーマに興味　□講師に興味　□内容に興味 □知識を得る　□問題解決　□上司の勧め □受講経験者の勧め　□役割を果たす　□ラダーと合致 □その他（　　）		
所属施設 直通電話または内線		―　　―			
受講者 携帯電話番号 ※研修に関する緊急連絡がある場合のみ使用します		―　　―			
＊受講決定通知を個人宛に送付を希望する方のみ、自宅住所を記入してください。 ※原則として所属施設に送付します					
〒	―				
住所					
この研修で何を学びたいのか、箇条書きでお書きください。※100字程度					

※ 研修無料受講券を使用する方は、事前に教育部までご連絡ください。
※ この申込書（様式２）はナースセンター研修、訪問看護推進研修、職能委員会研修、地区支部研修には使用できません。

※ 本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本会研修申し込みに際して得た個人情報は、研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。





電車
JR身延線善光寺駅下車
徒歩10分

車(タクシー)
JR甲府駅下車
10分

バス
JR甲府駅南口
バス乗り場7番線より
石和・富士吉田方面
甲府駅障害者センター下車
徒歩7分

公益社団法人 山梨県看護協会
看護教育研修センター

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺 2-25-1
TEL：055-226-4288 ／ FAX：055-222-5988
ホームページ：https://www.yna.or.jp
問い合わせは 月～金曜日 8：30 ～ 17：30(祝日・年末年始を除く)
「公益社団法人山梨県看護協会」で検索！